18歳人口予測
大学・短期大学・専門学校進学率
地元残留率の動向

【将来予測　2018～2030年】

▶18歳人口予測　P3～P8

・2018年118.0万人→2030年104.8万人(13.2万人減少)
・特に2020～2024年の５年間で10.5万人と大きく減少
・減少率が高いのは東北(2018年比78.2%)、減少数が大きいのは近畿(28,086人減)

【経過推移　2008～2017年　(地元残留率は2009～2018年)】

▶進学率(現役・過年度)の推移　P9～P14

大学進学率(現役)
・2008年46.0%→2017年49.6%(3.6ポイント上昇)
・上昇率が高いのは、1位北海道(115.0)、2位東北(110.2)、3位九州沖縄(109.2)※
・進学率が高いのは南関東、近畿、東海の三大都市圏

短期大学進学率(現役)
・2008年6.4%→2017年4.8%(1.6ポイント低下)
・低下率が高いのは、1位南関東(63.0)、2位中国(70.0)、3位北陸(70.5)※
・進学率が高いのは、北陸、甲信越、四国

専門学校進学率(現役)
・2008年15.3%→2017年16.2%(0.9ポイント上昇)
・上昇率が高いのは、1位近畿(111.4)、2位九州沖縄(108.3)、3位東海(107.8)※
・進学率が高いのは、甲信越、北海道、九州沖縄

都道府県別進学率(現役・2017年)
・大学進学率1位は東京、短期大学進学率1位は長野、専門学校進学率1位は新潟

大学・短期大学・専門学校進学率（現役・過年度比較）
・現役と過年度の進学率の差は、大学は3.0ポイント(過年度が高い)、
短期大学はほとんど差なし、専門学校は6.2ポイント(過年度が高い)

▶地元残留率の推移　P15～P25

・大学進学者の地元残留率は、2009年42.8%→2018年44.2%(1.4ポイント上昇)
・短期大学進学者の地元残留率は、2009年65.5%→2018年68.9%(3.4ポイント上昇)
・大学進学者の地元残留率1位は愛知(71.2%)、
短期大学進学者の地元残留率1位は福岡(92.5%)

注）※の( )内の数値は、2008年を100としたときの2017年の指数

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルートマーケティングパートナーズ　リクルート進学総研
http://souken.shingakunet.com/

データについて

■分析にあたって

① 18歳人口概算は、文部科学省「学校基本調査」より、以下のとおり定義して算出した。
- 18歳人口＝3年前の中学校卒業者および中等教育学校前期課程修了者数
- 中学校卒業者数＝高校生＋フリーター＋就職者　すべて含む

② 表内の「年度」に属する18歳とは、その年の3月に卒業を迎える高校3年生を指す。
③ 表内の「割合」とは、グラフ開始年度の値を100とおいた際の増減を示す。
④ 進学率とは、進学者数(大学・短大・専修学校専門課程)÷高等学校卒業者数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)で算出した。
⑤ 残留率とは、自県内の進学者数(大学・短大)÷高等学校卒業者数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)で算出した。
⑥ 図表で利用している百分率(%)は、小数点第2位を四捨五入しているため、四捨五入の結果、数値の和が100.0にならない場合がある。
⑦ 各分析の該当期間については、速報段階では数値が公表されないものもあるため、分析によっては期間が一致しない場合がある。
⑧ エリア別分析における各エリアに含まれる都道府県については以下のとおり。

北海道　：北海道
東北　　：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北関東　：茨城、栃木、群馬
南関東　：埼玉、千葉、東京、神奈川
甲信越　：新潟、山梨、長野
北陸　　：富山、石川、福井
東海　　：岐阜、静岡、愛知、三重
近畿　　：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国　　：鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国　　：徳島、香川、愛媛、高知
九州沖縄：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

〈年度早見表〉

学校基本調査		年		18歳人口	3年前の中学・中等教育卒業者
		図表　表記年	(4月現在の高3)	全国(全体)	
確報	公表	**2011**	2010	1,201,934	H20年(2008年)　の中学校卒業者＋中等教育学校前期課程修了者
確報	公表	**2012**	2011	1,191,210	H21年(2009年)　の中学校卒業者＋中等教育学校前期課程修了者
確報	公表	**2013**	2012	1,231,117	H22年(2010年)　の中学校卒業者＋中等教育学校前期課程修了者
確報	公表	**2014**	2013	1,180,838	H23年(2011年)　の中学校卒業者＋中等教育学校前期課程修了者
確報	公表	**2015**	2014	1,199,977	H24年(2012年)　の中学校卒業者＋中等教育学校前期課程修了者
確報	公表	**2016**	2015	1,190,262	H25年(2013年)　の中学校卒業者＋中等教育学校前期課程修了者
確報	公表	**2017**	2016	1,198,290	H26年(2014年)　の中学校卒業者＋中等教育学校前期課程修了者
確報	公表	**2018**	2017	1,179,808	H27年(2015年)　の中学校卒業者＋中等教育学校前期課程修了者
確報	公表	**2019**	2018	1,174,801	H28年(2016年)　の中学校卒業者＋中等教育学校前期課程修了者
確報	公表	**2020**	2019	1,167,348	H29年(2017年)　の中学校卒業者＋中等教育学校前期課程修了者＋義務教育学校卒業者数（H29年3月未卒業者より）
速報	予測	**2021**	2020	1,136,822	H30年(2018年)　の中学校卒業者＋中等教育学校前期課程修了者（全国計のみ）＋義務教育学校卒業者数（全国計のみ）
速報	予測	**2022**	2021	1,120,783	H30年(2018年)　の中学校3年生＋中等教育学校前期課程3年生＋義務教育学校9年生の生徒数
速報	予測	**2023**	2022	1,096,654	H30年(2018年)　の中学校2年生＋中等教育学校前期課程2年生＋義務教育学校8年生の生徒数
速報	予測	**2024**	2023	1,061,763	H30年(2018年)　の中学校1年生＋中等教育学校前期課程1年生＋義務教育学校7年生の生徒数
速報	予測	**2025**	2024	1,091,093	H30年(2018年)　の小学校6年生＋義務教育学校6年生の生徒数
速報	予測	**2026**	2025	1,092,747	H30年(2018年)　の小学校5年生＋義務教育学校5年生の生徒数
速報	予測	**2027**	2026	1,084,391	H30年(2018年)　の小学校4年生＋義務教育学校4年生の生徒数
速報	予測	**2028**	2027	1,068,454	H30年(2018年)　の小学校3年生＋義務教育学校3年生の生徒数
速報	予測	**2029**	2028	1,066,320	H30年(2018年)　の小学校2年生＋義務教育学校2年生の生徒数
速報	予測	**2030**	2029	1,048,163	H30年(2018年)　の小学校1年生＋義務教育学校1年生の生徒数

18歳人口予測(全体：全国：2018～2030年)

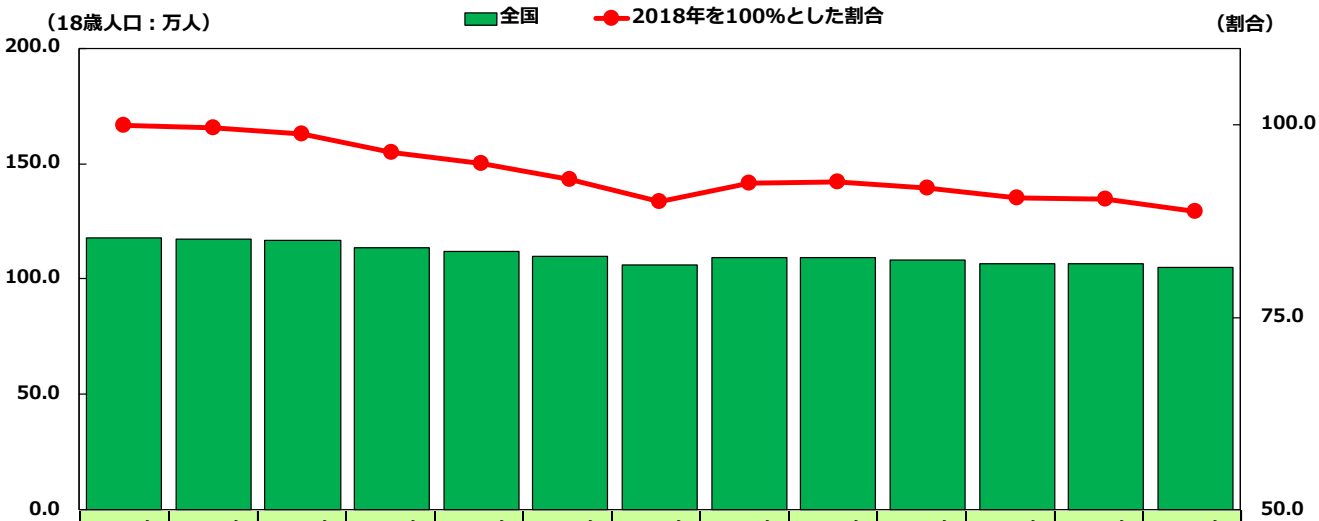
■2018年118.0万人→2030年104.8万人(13.2万人減少)

・全国の18歳人口は、以下の3段階を経て経年的に減少する。

① 2018～2024年：７年間かけて減少(118.0万人から106.2万人、11.8万人減少)。
特に2020～2024年の５年間で10.5万人と大きく減少する。

② 2025～2026年：2025年に109.1万人（前年比2.9万人増）と増加に転じ、
2026年は109.3万人とほぼ変わらず。

③ 2027～2030年：2027年に108.4万人（前年比0.9万人減）と再びやや減少し、
2030年には104.8万人となる。



	年度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
全国	人数	118.0	117.5	116.7	113.7	112.1	109.7	106.2	109.1	109.3	108.4	106.8	106.6	104.8
	割合	100.0	99.6	98.9	96.4	95.0	93.0	90.0	92.5	92.6	91.9	90.6	90.4	88.8

① ② ③

18歳人口予測(男女別：全国：2018～2029年)

■男女ともに12年間で約10%の減少

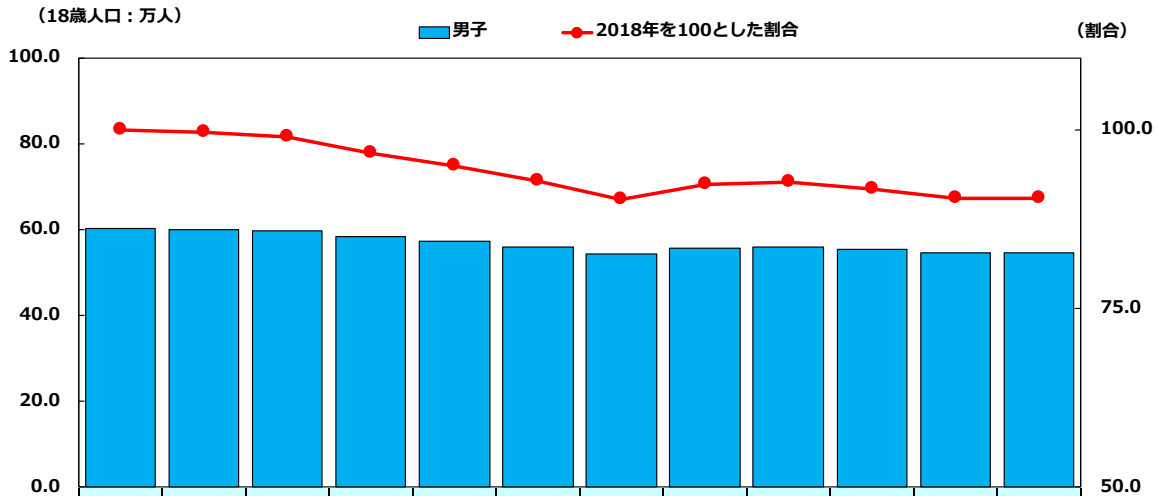
減少のスピード・時期は男女差がほとんどない。

男子

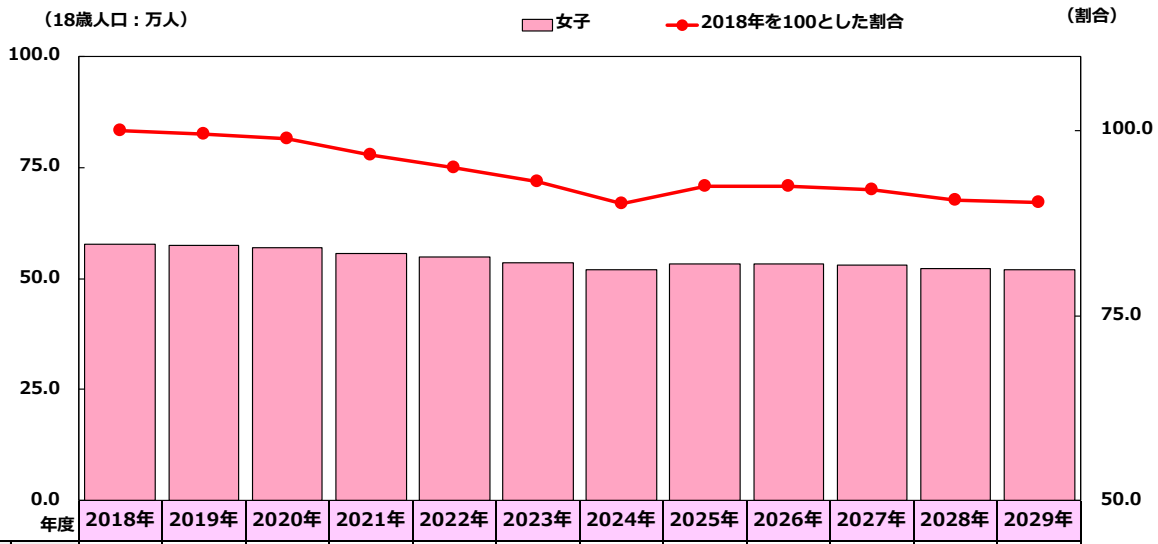
・2018年60.4万人から2029年54.6万人と、12年間で5.8万人減少。
・全体傾向と同様に2024年が12年間で最も少ない54.4万人となり、その後0.2万人増加する。

女子

・2018年57.6万人から2029年52.0万人と、12年間で5.6万人減少。
・男子と同様に2024年が51.9万人で最も少なくなり、その後0.1万人増加する。



	年度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
全国	人数	60.4	60.2	59.7	58.3	57.3	56.0	54.4	55.7	56.0	55.4	54.6	54.6
	割合	100.0	99.7	99.0	96.7	94.9	92.8	90.2	92.4	92.7	91.8	90.5	90.5



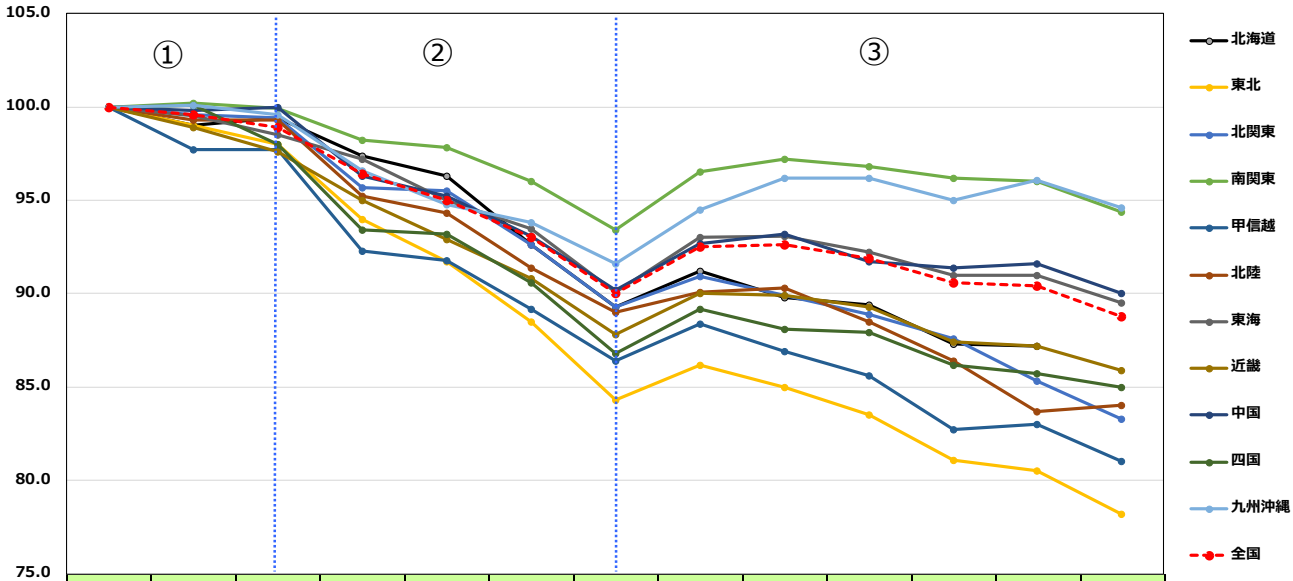
	年度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
全国	人数	57.6	57.3	57.0	55.7	54.8	53.6	51.9	53.3	53.2	53.0	52.1	52.0
	割合	100.0	99.5	98.9	96.7	95.0	93.1	90.1	92.5	92.4	91.9	90.5	90.2

18歳人口予測(全体：エリア別：2018～2030年)

■減少率が高いのは東北(2018年比78.2%)減少数が大きいのは近畿(28,086人減)

・減少率が高いのは、1位東北(2018年比78.2%)、2位甲信越(81.0%)、3位北関東(83.3%)。
・減少数が大きいのは、1位近畿(28086人減)、2位東北(18581人減)、3位南関東(17244人減)。
・減少率が低いのは、1位九州沖縄(94.6%)、2位南関東(94.4%)、3位中国(90.0%) 。
・エリア別の18歳人口は、以下の4段階を経て減少する。
① 2018～2020年：全国では約1.2万人減少するが、エリアごとに増減が異なる時期
② 2020～2024年：全国では約10.5万人減少するが、エリアごとに増減が異なる時期
③ 2024～2030年：全国で最低となる2024年の水準から回復またはさらに減少する時期
2024年より2030年の人口が増加するのは、南関東、九州沖縄。
北海道、東北、北関東、甲信越、北陸、近畿はさらなる減少に転じる見込み。

(2018年を100とした割合)



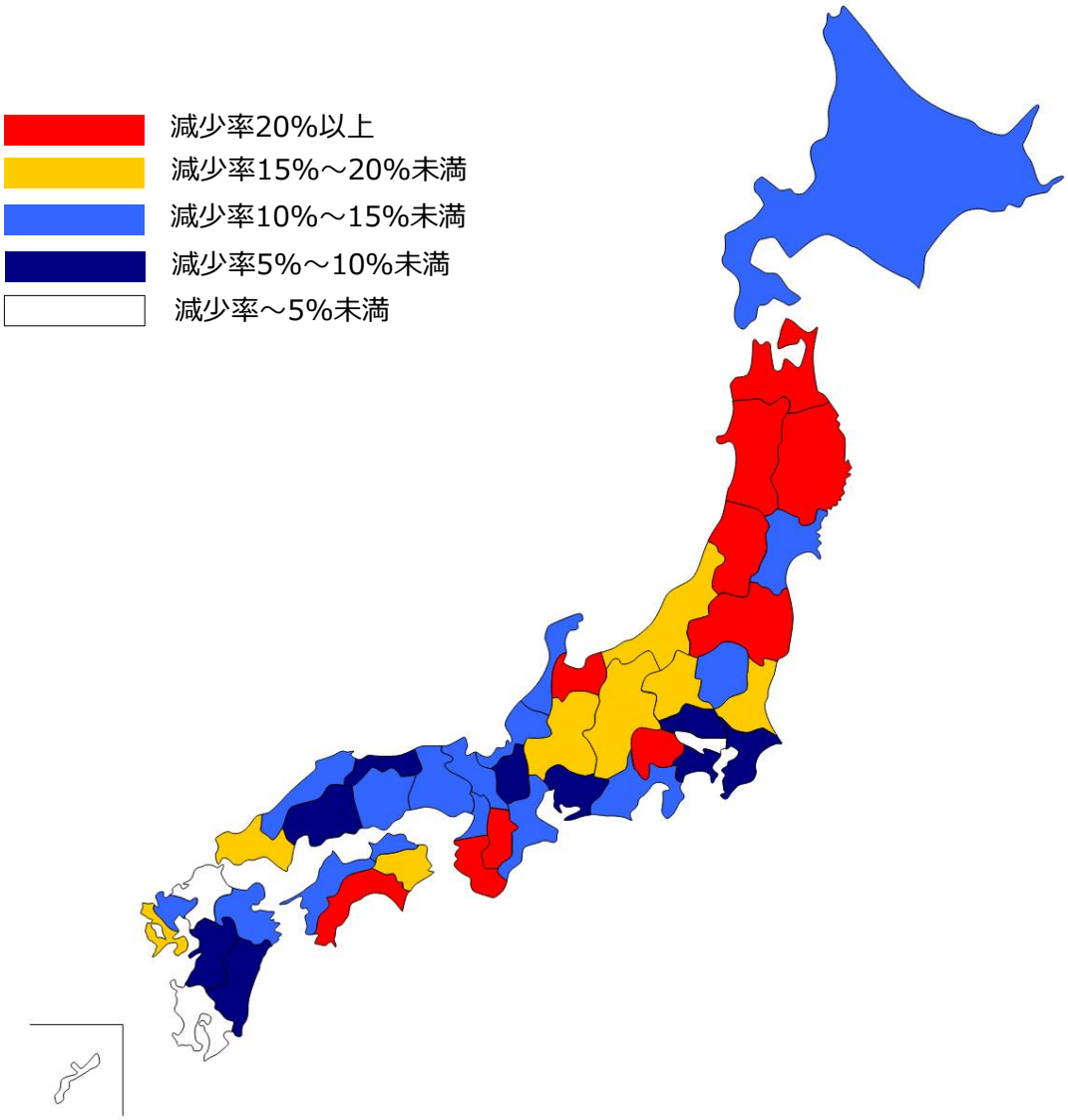
年度		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
全国	人数	1,179,808	1,174,801	1,167,348	1,136,822	1,120,783	1,096,654	1,061,763	1,091,093	1,092,747	1,084,391	1,068,454	1,066,320	1,048,163
	割合	100.0	99.6	98.9	96.4	95.0	93.0	90.0	92.5	92.6	91.9	90.6	90.4	88.8
北海道	人数	45,961	45,486	45,674	44,770	44,249	42,555	41,028	41,934	41,257	41,073	40,146	40,072	39,300
	割合	100.0	99.0	99.4	97.4	96.3	92.6	89.3	91.2	89.8	89.4	87.3	87.2	85.5
東北	人数	85,215	84,393	83,524	80,089	78,156	75,428	71,877	73,484	72,408	71,127	69,081	68,625	66,634
	割合	100.0	99.0	98.0	94.0	91.7	88.5	84.3	86.2	85.0	83.5	81.1	80.5	78.2
北関東	人数	66,753	66,461	66,380	63,909	63,747	61,824	59,620	60,674	60,020	59,369	58,485	56,951	55,613
	割合	100.0	99.6	99.4	95.7	95.5	92.6	89.3	90.9	89.9	88.9	87.6	85.3	83.3
南関東	人数	305,851	306,595	305,457	300,197	299,208	293,739	285,805	295,031	297,360	295,930	294,296	293,610	288,607
	割合	100.0	100.2	99.9	98.2	97.8	96.0	93.4	96.5	97.2	96.8	96.2	96.0	94.4
甲信越	人数	51,080	49,910	49,897	47,132	46,887	45,572	44,112	45,133	44,384	43,706	42,235	42,376	41,381
	割合	100.0	97.7	97.7	92.3	91.8	89.2	86.4	88.4	86.9	85.6	82.7	83.0	81.0
北陸	人数	29,216	29,024	29,004	27,814	27,540	26,717	26,011	26,329	26,375	25,855	25,238	24,459	24,530
	割合	100.0	99.3	99.3	95.2	94.3	91.4	89.0	90.1	90.3	88.5	86.4	83.7	84.0
東海	人数	147,726	147,041	145,478	143,538	140,396	138,153	133,157	137,325	137,600	136,268	134,394	134,399	132,227
	割合	100.0	99.5	98.5	97.2	95.0	93.5	90.1	93.0	93.1	92.2	91.0	91.0	89.5
近畿	人数	199,747	197,547	195,001	189,786	185,555	181,453	175,469	179,758	179,609	178,376	174,494	174,161	171,661
	割合	100.0	98.9	97.6	95.0	92.9	90.8	87.8	90.0	89.9	89.3	87.4	87.2	85.9
中国	人数	70,160	70,045	70,193	67,537	66,759	65,325	63,288	65,057	65,370	64,326	64,115	64,237	63,176
	割合	100.0	99.8	100.0	96.3	95.2	93.1	90.2	92.7	93.2	91.7	91.4	91.6	90.0
四国	人数	36,296	36,321	35,553	33,908	33,836	32,886	31,506	32,371	31,981	31,914	31,291	31,100	30,835
	割合	100.0	100.1	98.0	93.4	93.2	90.6	86.8	89.2	88.1	87.9	86.2	85.7	85.0
九州沖縄	人数	141,803	141,978	141,187	136,977	134,450	133,002	129,890	133,997	136,383	136,447	134,679	136,330	134,199
	割合	100.0	100.1	99.6	96.6	94.8	93.8	91.6	94.5	96.2	96.2	95.0	96.1	94.6

※文部科学省「H30年度（2018年） 学校基本調査 （速報値）」より
※2021年度の各エリアには、中等教育学校前期課程修了者数は含まれていない(H30年度（2018年）学校基本調査速報版で公表していない)ため、エリア合計と全国の合計は一致しない。

18歳人口の減少率予測(全体：都道府県別:2018→2030年)

■東北の減少率が高く、6県中5県で減少率20%以上

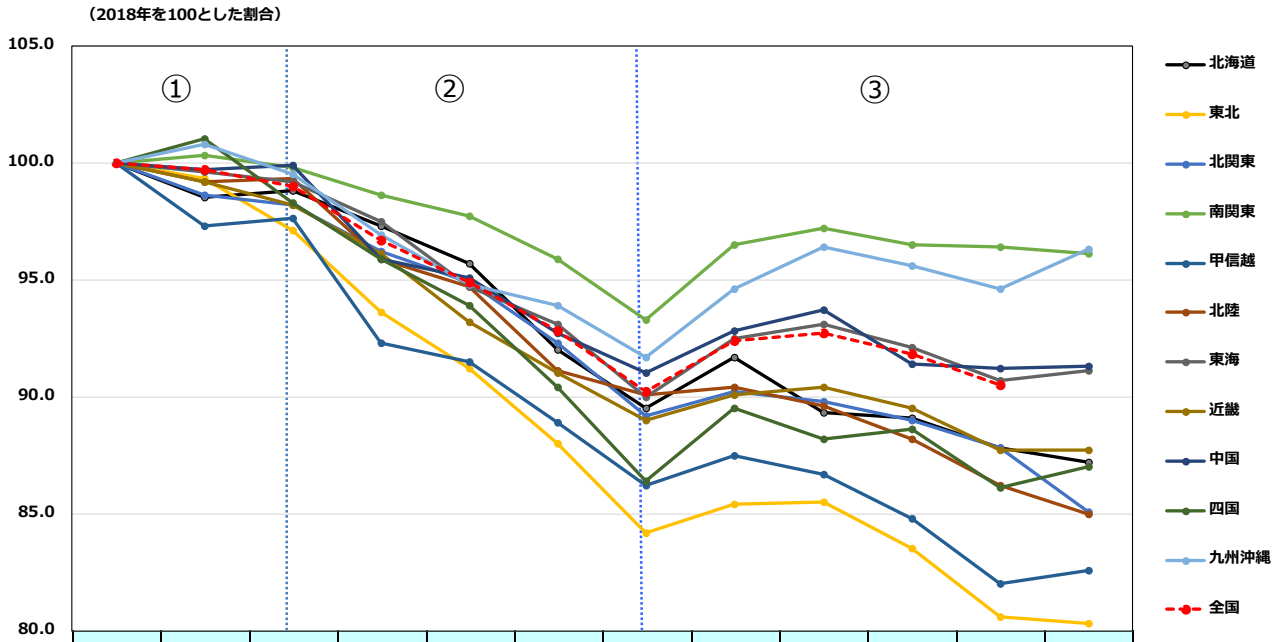
・減少率20%以上の県は、青森(26.1%)、岩手(22.4%)、秋田(26.7%)、山形(20.7%)、福島(25.3%)、山梨(22.9%)、富山(21.5%)、奈良(20.3%)、和歌山(21.8%)、高知(21.4%)。
・減少率15～20%未満の県は、茨城(17.0%)、群馬(19.0%)、新潟(18.7%)、長野(17.7%)、岐阜(16.0%)、山口(15.8%)、徳島(15.3%)、長崎(16.2%)。
・減少率10～15%未満の道府県は、北海道(14.5%)、宮城(14.4%)、栃木(13.9%)、石川(12.0%)、福井(14.7%)、静岡(12.4%)、三重(13.3%)、京都(14.1%)、大阪(14.8%)、兵庫(12.0%)、島根(11.0%)、岡山(11.6%)、香川(12.7%)、愛媛(13.4%)、佐賀(13.8%)、大分(10.0%)。
・減少率5～10%未満の県は、埼玉(8.8%)、千葉(7.9%)、神奈川(5.8%)、愛知(7.4%)、滋賀(6.4%)、鳥取(9.3%)、広島(5.9%)、熊本(6.4%)、宮崎(7.2%)。
・減少率5%未満の都県は、東京(2.3%)、福岡(1.1%)、鹿児島(4.8%)。
・沖縄は全都道府県で唯一人口が増加する見込み。



18歳人口予測(男子：エリア別：2018～2029年)

■男子が最も減少するのは東北(率)、近畿(数)

・減少率が高いのは、1位東北(2018年比80.3%)、2位甲信越(82.6%)、3位北陸(85.0%)。
・減少数が大きいのは、1位近畿(12500人減)、2位東北(8616人減)、3位東海(6766人減)。
・減少率が低いのは、1位九州沖縄 (96.3%)、2位南関東(96.1%)、3位中国(91.3%) 。
・③期において2024年より2029年の男子人口が減少するのは、北海道(537人減)、東北(1683人減)、北関東(1388人減)、甲信越(952人減)、北陸(753人減)、近畿(1275人減)。他エリアは増加に転じる。



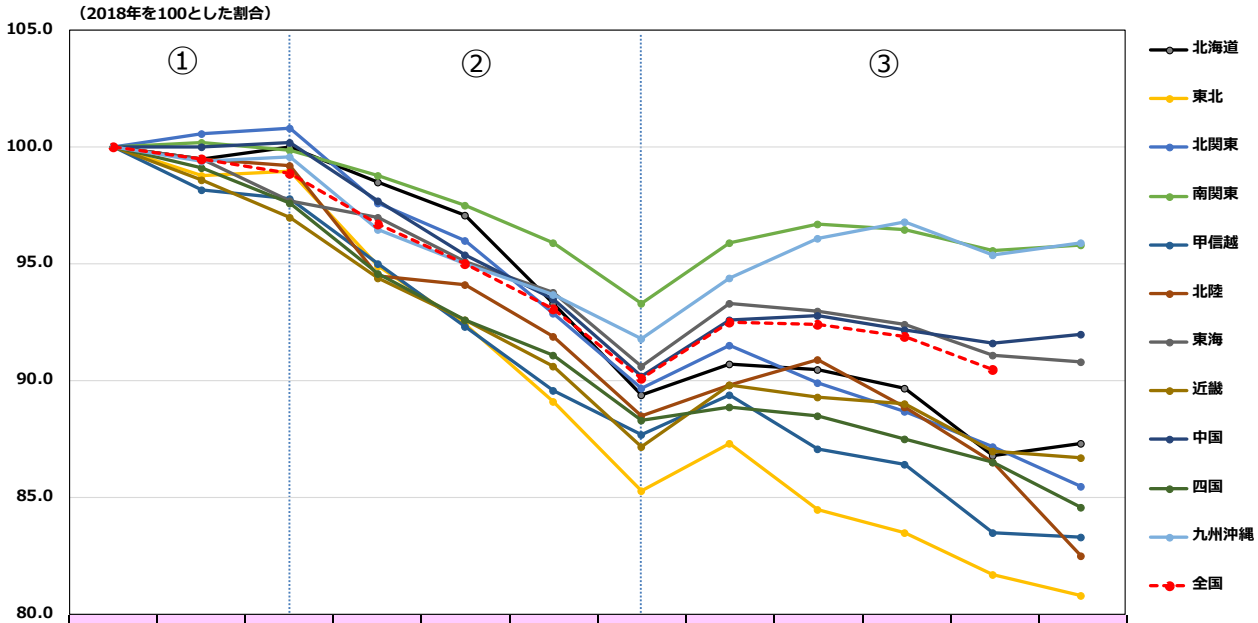
	年度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
全国	人数	603,525	601,526	597,205	583,499	572,752	559,893	544,290	557,429	559,586	553,809	546,460	546,428
	割合	100.0	99.7	99.0	96.7	94.9	92.8	90.2	92.4	92.7	91.8	90.5	90.5
北海道	人数	23,495	23,138	23,206	22,850	22,481	21,618	21,026	21,552	20,975	20,936	20,637	20,489
	割合	100.0	98.5	98.8	97.3	95.7	92.0	89.5	91.7	89.3	89.1	87.8	87.2
東北	人数	43,760	43,434	42,491	40,966	39,903	38,511	36,827	37,365	37,407	36,552	35,287	35,144
	割合	100.0	99.3	97.1	93.6	91.2	88.0	84.2	85.4	85.5	83.5	80.6	80.3
北関東	人数	34,332	33,843	33,713	33,038	32,584	31,693	30,609	30,958	30,835	30,568	30,145	29,221
	割合	100.0	98.6	98.2	96.2	94.9	92.3	89.2	90.2	89.8	89.0	87.8	85.1
南関東	人数	156,311	156,751	156,005	154,076	152,760	149,910	145,819	150,768	151,890	150,912	150,734	150,243
	割合	100.0	100.3	99.8	98.6	97.7	95.9	93.3	96.5	97.2	96.5	96.4	96.1
甲信越	人数	26,315	25,600	25,673	24,289	24,081	23,392	22,686	23,018	22,814	22,327	21,580	21,734
	割合	100.0	97.3	97.6	92.3	91.5	88.9	86.2	87.5	86.7	84.8	82.0	82.6
北陸	人数	14,911	14,792	14,814	14,299	14,114	13,582	13,432	13,485	13,364	13,147	12,857	12,679
	割合	100.0	99.2	99.3	95.9	94.7	91.1	90.1	90.4	89.6	88.2	86.2	85.0
東海	人数	75,697	75,365	75,092	73,788	71,704	70,474	68,150	70,027	70,442	69,688	68,694	68,931
	割合	100.0	99.6	99.2	97.5	94.7	93.1	90.0	92.5	93.1	92.1	90.7	91.1
近畿	人数	101,714	100,917	99,916	97,719	94,768	92,530	90,489	91,683	91,952	91,073	89,195	89,214
	割合	100.0	99.2	98.2	96.1	93.2	91.0	89.0	90.1	90.4	89.5	87.7	87.7
中国	人数	35,963	35,861	35,922	34,487	34,203	33,342	32,736	33,388	33,690	32,855	32,811	32,844
	割合	100.0	99.7	99.9	95.9	95.1	92.7	91.0	92.8	93.7	91.4	91.2	91.3
四国	人数	18,516	18,702	18,193	17,749	17,388	16,740	15,995	16,573	16,336	16,405	15,936	16,110
	割合	100.0	101.0	98.3	95.9	93.9	90.4	86.4	89.5	88.2	88.6	86.1	87.0
九州沖縄	人数	72,511	73,123	72,180	70,238	68,766	68,101	66,521	68,612	69,881	69,346	68,584	69,819
	割合	100.0	100.8	99.5	96.9	94.8	93.9	91.7	94.6	96.4	95.6	94.6	96.3

※文部科学省「H29年度（2017年）　学校基本調査（確報）」より。
H30年度（2018年）学校基本調査　速報値（8/2公表）は、男女別のデータ公表されていない。

18歳人口予測(女子：エリア別：2018～2029年)

■女子が最も減少するのは東北(率)、近畿(数)

・減少率が高いのは、1位東北(2018年比80.8%)、2位北陸(82.5%)、3位甲信越 (83.3%)。
・減少数が大きいのは、1位近畿(13056人減)、2位東北(7940人減)、3位東海(6660人減)。
・減少率が低いのは、1位九州沖縄(95.9%)、2位南関東(95.8%)、3位中国(92.0%)。
・③期において2024年より2029年の女子人口が減少するのは、北海道(468人減)、東北(1837人減)、北関東(1364人減)、甲信越(1073人減)、北陸(856人減)、近畿(475人減)、四国(662人減)。
他エリアは増加に転じる。



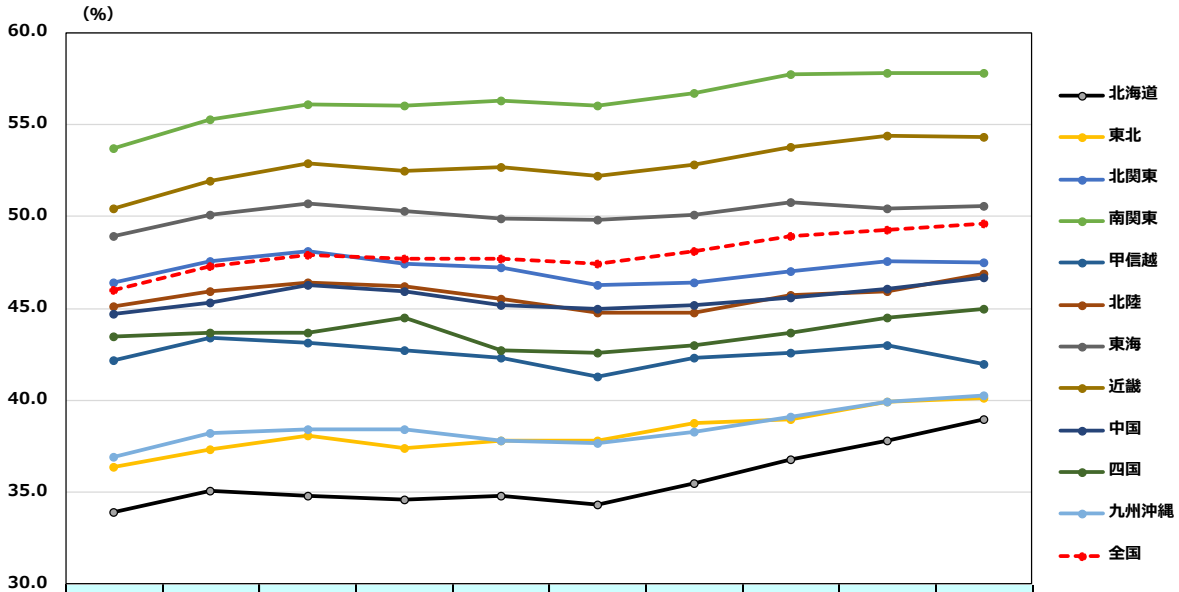
	年度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
全国	人数	576,283	573,275	570,143	557,340	547,612	536,339	519,198	532,793	532,333	529,866	521,409	519,815
	割合	100.0	99.5	98.9	96.7	95.0	93.1	90.1	92.5	92.4	91.9	90.5	90.2
北海道	人数	22,466	22,348	22,468	22,120	21,804	20,958	20,077	20,375	20,322	20,151	19,502	19,609
	割合	100.0	99.5	100.0	98.5	97.1	93.3	89.4	90.7	90.5	89.7	86.8	87.3
東北	人数	41,455	40,959	41,033	39,322	38,322	36,942	35,352	36,175	35,029	34,632	33,874	33,515
	割合	100.0	98.8	99.0	94.9	92.4	89.1	85.3	87.3	84.5	83.5	81.7	80.8
北関東	人数	32,421	32,618	32,667	31,654	31,118	30,113	29,072	29,673	29,148	28,762	28,268	27,708
	割合	100.0	100.6	100.8	97.6	96.0	92.9	89.7	91.5	89.9	88.7	87.2	85.5
南関東	人数	149,540	149,844	149,452	147,726	145,871	143,438	139,450	143,458	144,644	144,258	143,027	143,207
	割合	100.0	100.2	99.9	98.8	97.5	95.9	93.3	95.9	96.7	96.5	95.6	95.8
甲信越	人数	24,765	24,310	24,224	23,516	22,848	22,194	21,711	22,138	21,578	21,401	20,678	20,638
	割合	100.0	98.2	97.8	95.0	92.3	89.6	87.7	89.4	87.1	86.4	83.5	83.3
北陸	人数	14,305	14,232	14,190	13,523	13,461	13,146	12,662	12,844	13,004	12,721	12,368	11,806
	割合	100.0	99.5	99.2	94.5	94.1	91.9	88.5	89.8	90.9	88.9	86.5	82.5
東海	人数	72,029	71,676	70,386	69,842	68,501	67,583	65,260	67,190	67,012	66,562	65,589	65,369
	割合	100.0	99.5	97.7	97.0	95.1	93.8	90.6	93.3	93.0	92.4	91.1	90.8
近畿	人数	98,033	96,630	95,085	92,520	90,767	88,852	85,452	88,028	87,522	87,226	85,266	84,977
	割合	100.0	98.6	97.0	94.4	92.6	90.6	87.2	89.8	89.3	89.0	87.0	86.7
中国	人数	34,197	34,184	34,271	33,427	32,637	31,990	30,844	31,661	31,742	31,532	31,329	31,473
	割合	100.0	100.0	100.2	97.7	95.4	93.5	90.2	92.6	92.8	92.2	91.6	92.0
四国	人数	17,780	17,619	17,360	16,817	16,468	16,203	15,705	15,810	15,731	15,558	15,380	15,043
	割合	100.0	99.1	97.6	94.6	92.6	91.1	88.3	88.9	88.5	87.5	86.5	84.6
九州沖縄	人数	69,292	68,855	69,007	66,873	65,815	64,920	63,613	65,441	66,601	67,063	66,128	66,470
	割合	100.0	99.4	99.6	96.5	95.0	93.7	91.8	94.4	96.1	96.8	95.4	95.9

※文部科学省「H29年度（2017年）　学校基本調査（確報）」より。
H30年度（2018年）学校基本調査　速報値（8/2公表）は、男女別のデータ公表されていない。

大学進学率の推移(現役：エリア別：2008～2017年)

■2008年46.0%→2017年49.6%(3.6ポイント上昇)

・全国で2008年46.0%→2017年49.6%と、10年間で3.6ポイント上昇。
　2008～2010年の3年間で緩やかに1.9ポイント上昇(46.0%→47.9%)。
　2010～2012年の3年間は横ばいのトレンド(47.9%→47.7%)。
　2013～2017年にかけて2.2ポイントの上昇（47.4%→49.6%）。
・上昇率が高いのは、1位北海道(115.0)、2位東北(110.2)、3位九州沖縄(109.2)。※
・上昇率が低いのは、1位甲信越(99.5)、2位北関東(102.4)、3位四国(103.4)。※
・進学率が高いのは、1位南関東(2017年57.8%)、2位近畿(54.3%)、3位東海(50.6%)。
注）※の( )内の数値は、2008年を100としたときの2017年の指数



		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
全国	進学率	46.0	47.3	47.9	47.7	47.7	47.4	48.1	48.9	49.3	49.6
	割合	100.0	102.8	104.1	103.7	103.7	103.0	104.6	106.3	107.2	107.8
北海道	進学率	33.9	35.1	34.8	34.6	34.8	34.3	35.5	36.8	37.8	39.0
	割合	100.0	103.5	102.7	102.1	102.7	101.2	104.7	108.6	111.5	115.0
東北	進学率	36.4	37.3	38.1	37.4	37.8	37.8	38.8	39.0	39.9	40.1
	割合	100.0	102.5	104.7	102.7	103.8	103.8	106.6	107.1	109.6	110.2
北関東	進学率	46.4	47.6	48.1	47.4	47.2	46.3	46.4	47.0	47.6	47.5
	割合	100.0	102.6	103.7	102.2	101.7	99.8	100.0	101.3	102.6	102.4
南関東	進学率	53.7	55.3	56.1	56.0	56.3	56.0	56.7	57.7	57.8	57.8
	割合	100.0	103.0	104.5	104.3	104.8	104.3	105.6	107.4	107.6	107.6
甲信越	進学率	42.2	43.4	43.1	42.7	42.3	41.3	42.3	42.6	43.0	42.0
	割合	100.0	102.8	102.1	101.2	100.2	97.9	100.2	100.9	101.9	99.5
北陸	進学率	45.1	45.9	46.4	46.2	45.5	44.8	44.8	45.7	45.9	46.9
	割合	100.0	101.8	102.9	102.4	100.9	99.3	99.3	101.3	101.8	104.0
東海	進学率	48.9	50.1	50.7	50.3	49.9	49.8	50.1	50.8	50.4	50.6
	割合	100.0	102.5	103.7	102.9	102.0	101.8	102.5	103.9	103.1	103.5
近畿	進学率	50.4	51.9	52.9	52.5	52.7	52.2	52.8	53.8	54.4	54.3
	割合	100.0	103.0	105.0	104.2	104.6	103.6	104.8	106.7	107.9	107.7
中国	進学率	44.7	45.3	46.3	45.9	45.2	45.0	45.2	45.6	46.1	46.7
	割合	100.0	101.3	103.6	102.7	101.1	100.7	101.1	102.0	103.1	104.5
四国	進学率	43.5	43.7	43.7	44.5	42.7	42.6	43.0	43.7	44.5	45.0
	割合	100.0	100.5	100.5	102.3	98.2	97.9	98.9	100.5	102.3	103.4
九州沖縄	進学率	36.9	38.2	38.4	38.4	37.8	37.7	38.3	39.1	39.9	40.3
	割合	100.0	103.5	104.1	104.1	102.4	102.2	103.8	106.0	108.1	109.2

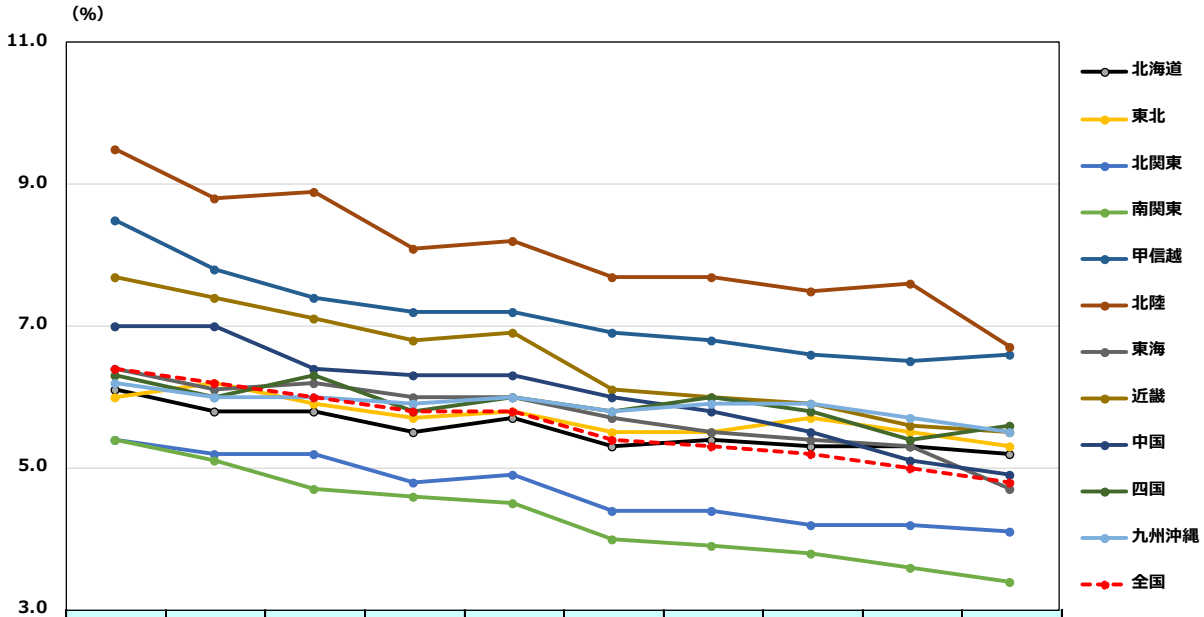
※文部科学省「H29年度（2017年）　学校基本調査（確報）」より。

リクルート進学総研

短期大学進学率の推移(現役：エリア別：2008～2017年)

■2008年6.4%→2017年4.8%(1.6ポイント低下)

・全国で見ると2008年6.4%→2017年4.8%と、10年間で1.6ポイント低下。
・低下率が高いのは、1位南関東(63.0)、2位中国(70.0)、3位北陸(70.5)。※
・低下率が低いのは、1位四国(88.9)、2位九州沖縄(88.7)、3位東北(88.3)。※
・進学率が高いのは、1位北陸(2017年6.7%)、2位甲信越(6.6%)、3位四国(5.6%)。
注）※の( )内の数値は、2008年を100としたときの2017年の指数



		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
全国	進学率	6.4	6.2	6.0	5.8	5.8	5.4	5.3	5.2	5.0	4.8
	割合	100.0	96.9	93.8	90.6	90.6	84.4	82.8	81.3	78.1	75.0
北海道	進学率	6.1	5.8	5.8	5.5	5.7	5.3	5.4	5.3	5.3	5.2
	割合	100.0	95.1	95.1	90.2	93.4	86.9	88.5	86.9	86.9	85.2
東北	進学率	6.0	6.2	5.9	5.7	5.8	5.5	5.5	5.7	5.5	5.3
	割合	100.0	103.3	98.3	95.0	96.7	91.7	91.7	95.0	91.7	88.3
北関東	進学率	5.4	5.2	5.2	4.8	4.9	4.4	4.4	4.2	4.2	4.1
	割合	100.0	96.3	96.3	88.9	90.7	81.5	81.5	77.8	77.8	75.9
南関東	進学率	5.4	5.1	4.7	4.6	4.5	4.0	3.9	3.8	3.6	3.4
	割合	100.0	94.4	87.0	85.2	83.3	74.1	72.2	70.4	66.7	63.0
甲信越	進学率	8.5	7.8	7.4	7.2	7.2	6.9	6.8	6.6	6.5	6.6
	割合	100.0	91.8	87.1	84.7	84.7	81.2	80.0	77.6	76.5	77.6
北陸	進学率	9.5	8.8	8.9	8.1	8.2	7.7	7.7	7.5	7.6	6.7
	割合	100.0	92.6	93.7	85.3	86.3	81.1	81.1	78.9	80.0	70.5
東海	進学率	6.4	6.1	6.2	6.0	6.0	5.7	5.5	5.4	5.3	4.7
	割合	100.0	95.3	96.9	93.8	93.8	89.1	85.9	84.4	82.8	73.4
近畿	進学率	7.7	7.4	7.1	6.8	6.9	6.1	6.0	5.9	5.6	5.5
	割合	100.0	96.1	92.2	88.3	89.6	79.2	77.9	76.6	72.7	71.4
中国	進学率	7.0	7.0	6.4	6.3	6.3	6.0	5.8	5.5	5.1	4.9
	割合	100.0	100.0	91.4	90.0	90.0	85.7	82.9	78.6	72.9	70.0
四国	進学率	6.3	6.0	6.3	5.8	6.0	5.8	6.0	5.8	5.4	5.6
	割合	100.0	95.2	100.0	92.1	95.2	92.1	95.2	92.1	85.7	88.9
九州沖縄	進学率	6.2	6.0	6.0	5.9	6.0	5.8	5.9	5.9	5.7	5.5
	割合	100.0	96.8	96.8	95.2	96.8	93.5	95.2	95.2	91.9	88.7

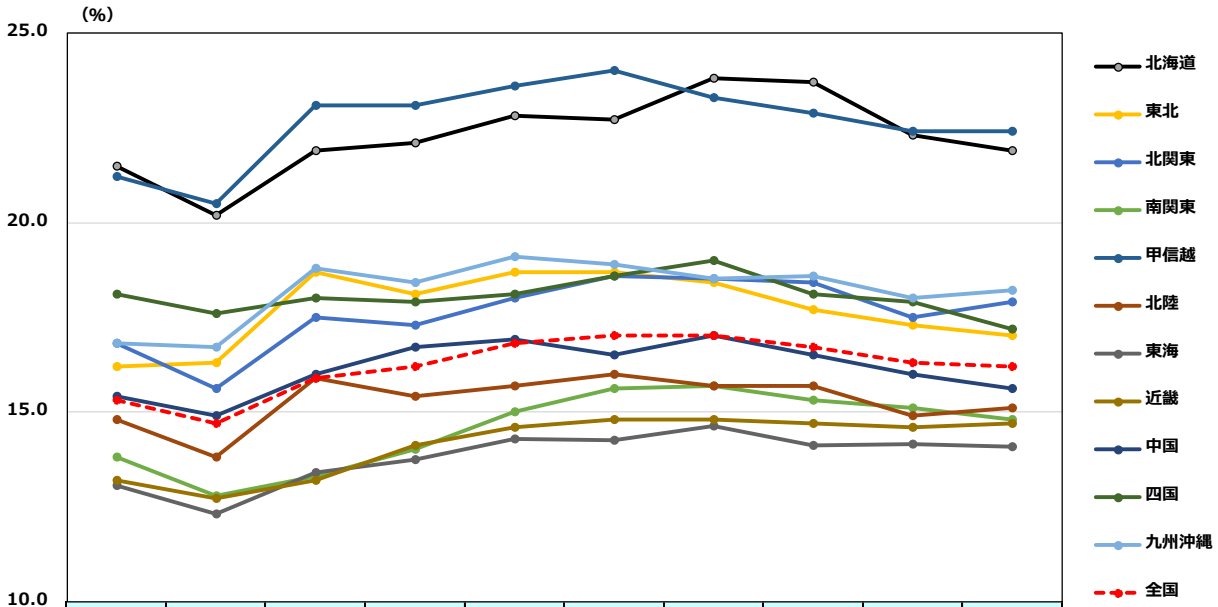
※文部科学省「H29年度（2017年）　学校基本調査（確報）」より。

リクルート進学総研

専門学校進学率の推移(現役：エリア別：2008～2017年)

■2008年15.3%→2017年16.2%(0.9ポイント上昇)

・全国で見ると2008年15.3%→2017年16.2%と、10年間で0.9ポイント上昇。
　ただし最も低下したのは2009年14.7%で、その後回復している。
・上昇率が高いのは、1位近畿(111.4)、2位九州沖縄(108.3)、3位東海(107.8)。※
・上昇率が低いのは、1位四国(95.0)、2位中国(101.3)、3位北海道(101.9)。※
・進学率が高いのは、1位甲信越(2017年22.4%)、2位北海道(21.9%)、3位九州沖縄(18.2%)。
注）※の( )内の数値は、2008年を100としたときの2017年の指数



		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
全国	進学率	15.3	14.7	15.9	16.2	16.8	17.0	17.0	16.7	16.3	16.2
	割合	100.0	96.1	103.9	105.9	109.8	111.1	111.1	109.2	106.5	105.9
北海道	進学率	21.5	20.2	21.9	22.1	22.8	22.7	23.8	23.7	22.3	21.9
	割合	100.0	94.0	101.9	102.8	106.0	105.6	110.7	110.2	103.7	101.9
東北	進学率	16.2	16.3	18.7	18.1	18.7	18.7	18.4	17.7	17.3	17.0
	割合	100.0	100.6	115.4	111.7	115.4	115.4	113.6	109.3	106.8	104.9
北関東	進学率	16.8	15.6	17.5	17.3	18.0	18.6	18.5	18.4	17.5	17.9
	割合	100.0	92.9	104.2	103.0	107.1	110.7	110.1	109.5	104.2	106.5
南関東	進学率	13.8	12.8	13.3	14.0	15.0	15.6	15.7	15.3	15.1	14.8
	割合	100.0	92.8	96.4	101.4	108.7	113.0	113.8	110.9	109.4	107.2
甲信越	進学率	21.2	20.5	23.1	23.1	23.6	24.0	23.3	22.9	22.4	22.4
	割合	100.0	96.7	109.0	109.0	111.3	113.2	109.9	108.0	105.7	105.7
北陸	進学率	14.8	13.8	15.9	15.4	15.7	16.0	15.7	15.7	14.9	15.1
	割合	100.0	93.2	107.4	104.1	106.1	108.1	106.1	106.1	100.7	102.0
東海	進学率	13.1	12.3	13.4	13.7	14.3	14.3	14.6	14.1	14.2	14.1
	割合	100.0	94.3	102.6	105.0	109.3	109.0	111.9	108.0	108.3	107.8
近畿	進学率	13.2	12.7	13.2	14.1	14.6	14.8	14.8	14.7	14.6	14.7
	割合	100.0	96.2	100.0	106.8	110.6	112.1	112.1	111.4	110.6	111.4
中国	進学率	15.4	14.9	16.0	16.7	16.9	16.5	17.0	16.5	16.0	15.6
	割合	100.0	96.8	103.9	108.4	109.7	107.1	110.4	107.1	103.9	101.3
四国	進学率	18.1	17.6	18.0	17.9	18.1	18.6	19.0	18.1	17.9	17.2
	割合	100.0	97.2	99.4	98.9	100.0	102.8	105.0	100.0	98.9	95.0
九州沖縄	進学率	16.8	16.7	18.8	18.4	19.1	18.9	18.5	18.6	18.0	18.2
	割合	100.0	99.4	111.9	109.5	113.7	112.5	110.1	110.7	107.1	108.3

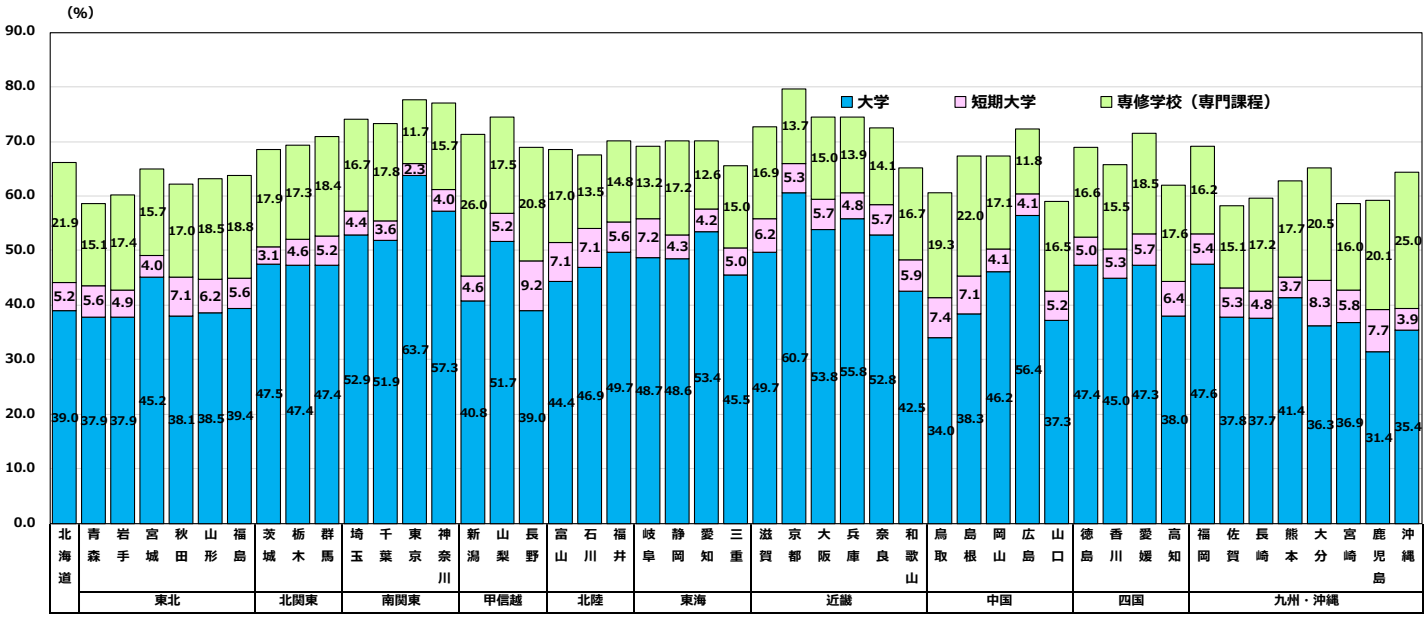
※文部科学省「H29年度（2017年）　学校基本調査（確報）」より。

リクルート進学総研

大学・短期大学・専門学校進学率(現役：都道府県別：2017年)

■大学進学率1位は東京、短期大学進学率1位は長野、専門学校進学率1位は新潟

大学進学率　1位：東京(63.7%)　2位：京都(60.7%)　3位：神奈川(57.3%)
短期大学進学率　1位：長野(9.2%)　2位：大分(8.3%)　3位：鹿児島(7.7%)
専門学校進学率　1位：新潟(26.0%)　2位：沖縄(25.0%)　3位：島根(22.0%)



（参考）大学・短期大学・専門学校進学率ランキング　（%）

大学			短期大学			専門学校		
1	東京	63.7	1	長野	9.2	1	新潟	26.0
2	京都	60.7	2	大分	8.3	2	沖縄	25.0
3	神奈川	57.3	3	鹿児島	7.7	3	島根	22.0
4	広島	56.4	4	鳥取	7.4	4	北海道	21.9
5	兵庫	55.8	5	岐阜	7.2	5	長野	20.8
6	大阪	53.8	6	秋田	7.1	6	大分	20.5
7	愛知	53.4	6	石川	7.1	7	鹿児島	20.1
8	埼玉	52.9	6	島根	7.1	8	鳥取	19.3
9	奈良	52.8	6	富山	7.1	9	福島	18.8
10	千葉	51.9	10	高知	6.4	10	愛媛	18.5
11	山梨	51.7	11	滋賀	6.2	10	山形	18.5
12	滋賀	49.7	11	山形	6.2	12	群馬	18.4
12	福井	49.7	13	和歌山	5.9	13	茨城	17.9
14	岐阜	48.7	14	宮崎	5.8	14	千葉	17.8
15	静岡	48.6	15	愛媛	5.7	15	熊本	17.7
16	福岡	47.6	15	大阪	5.7	16	高知	17.6
17	茨城	47.5	15	奈良	5.7	17	山梨	17.5
18	群馬	47.4	18	青森	5.6	18	岩手	17.4
18	徳島	47.4	18	福井	5.6	19	栃木	17.3
18	栃木	47.4	18	福島	5.6	20	静岡	17.2
						20	長崎	17.2

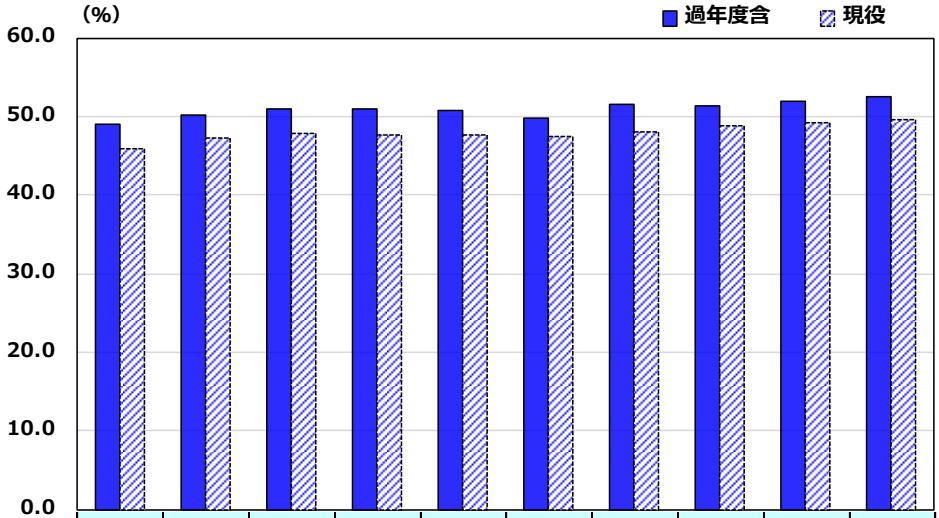
リクルート進学総研

大学・短期大学・専門学校進学率(現役・過年度比較：全国：2008～2017年)

■現役と過年度の進学率の差は、大学は3.0ポイント(過年度が高い)、短期大学はほとんど差なし。

大学進学者

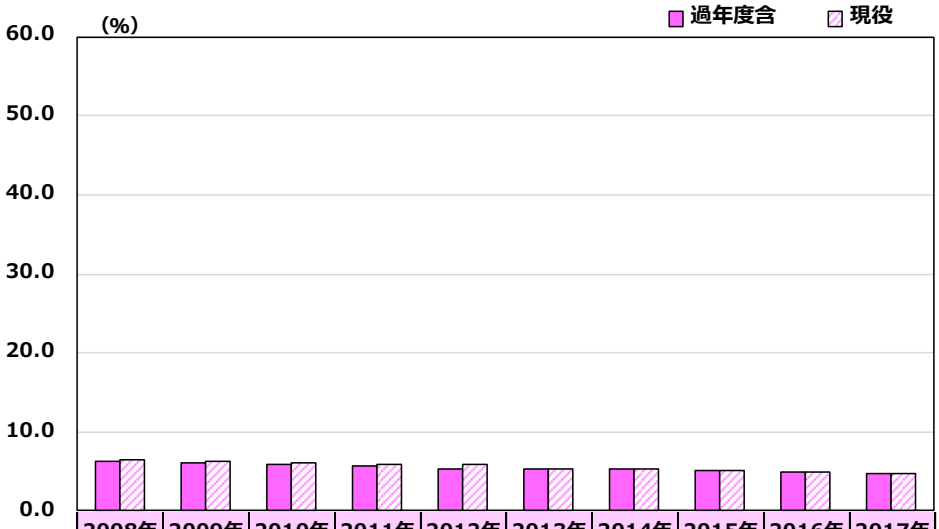
・現役の進学率は2008年46.0%→2017年49.6%(3.6ポイント上昇)。
過年度の進学率は2008年49.1%→2017年52.6%(3.5ポイント上昇)。
・過年度と現役の進学率の差は2008年3.1ポイント→2017年3.0ポイント。
最も差が縮まるのは2013年の2.5ポイント。



		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
大学	過年度含	49.1	50.2	50.9	51.0	50.8	49.9	51.5	51.5	52.0	52.6
	現役	46.0	47.3	47.9	47.7	47.7	47.4	48.1	48.9	49.3	49.6

短期大学進学者

・現役の進学率は2008年6.4%→2017年4.8%(1.6ポイント低下)。
過年度の進学率は2008年6.3%→2017年4.7%(1.6ポイント低下)。
・過年度と現役の進学率の差は2008年0.1ポイント→2016年0.1ポイントと差が同じ。



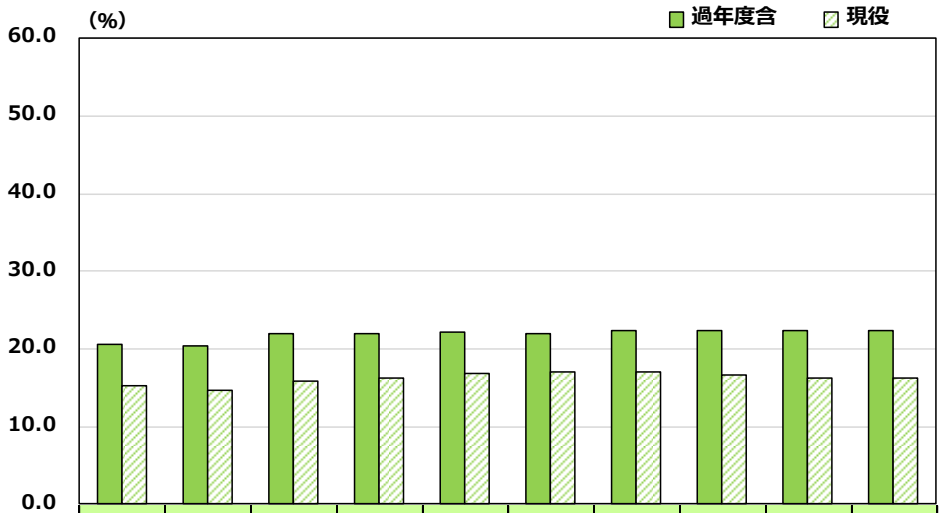
		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
短期大学	過年度含	6.3	6.0	5.9	5.7	5.4	5.3	5.2	5.1	4.9	4.7
	現役	6.4	6.2	6.0	5.8	5.8	5.4	5.3	5.2	5.0	4.8

大学・短期大学・専門学校進学率(現役・過年度比較：全国：2008～2017年)

■専門学校で現役と過年度の進学率の差は、6.2ポイント(過年度が高い)

専門学校進学者

・現役の進学率は2008年15.3%→2017年16.2%(0.9ポイント上昇)。
　過年度の進学率は2008年20.6%→2017年22.4%(1.8ポイント上昇)。
・過年度と現役の進学率の差は2008年5.3ポイント→2017年6.2ポイントと拡大。



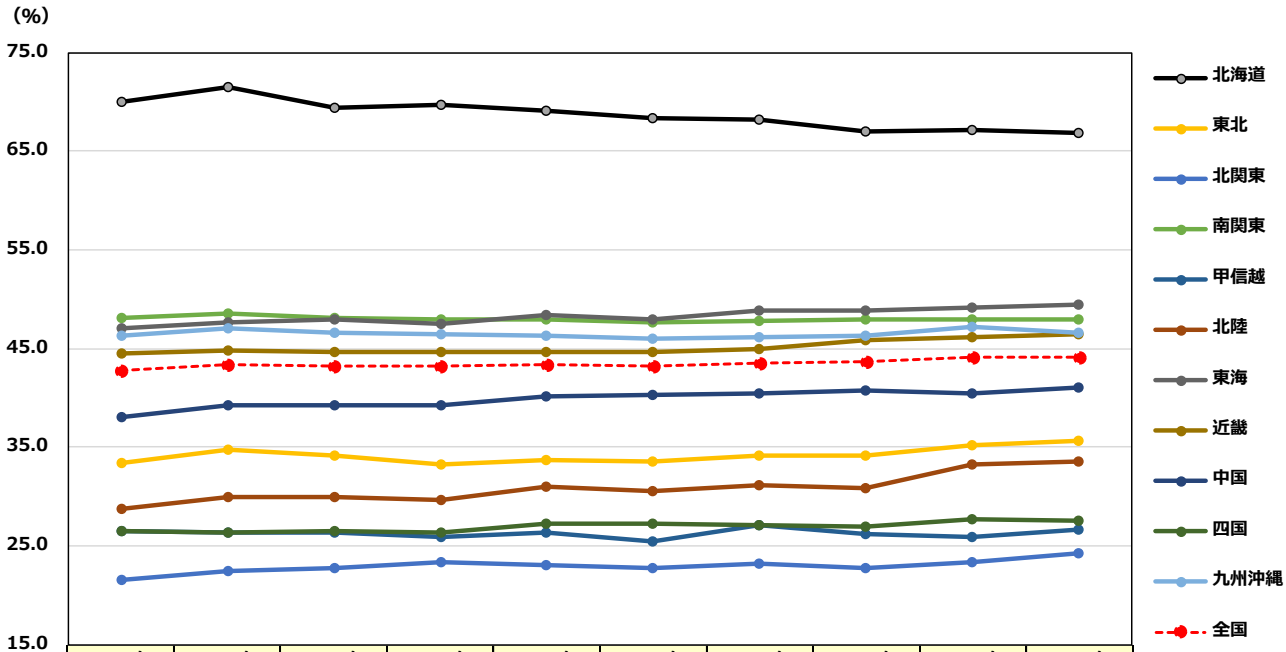
		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
専門学校	過年度含	20.6	20.4	22.0	21.9	22.2	21.9	22.4	22.4	22.3	22.42
	現役	15.3	14.7	15.9	16.2	16.8	17.0	17.0	16.7	16.3	16.2

地元残留率の推移(全体：大学進学者：エリア別：2009～2018年)

■2009年42.8%→2018年44.2%(1.4ポイント上昇)

・全国で2009年42.8%→2017年44.2%と1.4ポイント上昇。
・上昇率が高いのは、1位北陸(116.7)、2位北関東(112.0)、3位中国(107.6)。※
・残留率が高いのは、1位北海道(2018年66.9%)、2位東海(49.5%)、3位南関東(47.9%)。
・北海道は2009年で70.1%という高い残留率だったが、2018年で66.9%と3.2ポイント低下。ただし数値としては抜きんでて高く、2位の東海(49.5%)に20ポイント近い差をつけており、全体平均を引き上げている。

注）※の( )内の数値は、2009年を100としたときの2018年の指数



		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
全国	残留率	42.8	43.4	43.2	43.2	43.4	43.2	43.6	43.7	44.1	44.2
	割合	100.0	101.4	100.9	100.9	101.4	100.9	101.9	102.1	103.0	103.3
北海道	残留率	70.1	71.5	69.4	69.7	69.2	68.4	68.3	67.1	67.2	66.9
	割合	100.0	102.0	99.0	99.4	98.7	97.6	97.4	95.7	95.9	95.4
東北	残留率	33.4	34.7	34.2	33.3	33.7	33.6	34.1	34.1	35.2	35.7
	割合	100.0	103.9	102.4	99.7	100.9	100.6	102.1	102.1	105.4	106.9
北関東	残留率	21.6	22.4	22.8	23.4	23.1	22.8	23.2	22.7	23.3	24.2
	割合	100.0	103.7	105.6	108.3	106.9	105.6	107.4	105.1	107.9	112.0
南関東	残留率	48.1	48.5	48.1	48.0	47.9	47.7	47.8	47.9	48.0	47.9
	割合	100.0	100.8	100.0	99.8	99.6	99.2	99.4	99.6	99.8	99.6
甲信越	残留率	26.5	26.4	26.3	25.9	26.3	25.4	27.1	26.2	25.9	26.7
	割合	100.0	99.6	99.2	97.7	99.2	95.8	102.3	98.9	97.7	100.8
北陸	残留率	28.7	29.9	29.9	29.7	31.0	30.5	31.1	30.9	33.2	33.5
	割合	100.0	104.2	104.2	103.5	108.0	106.3	108.4	107.7	115.7	116.7
東海	残留率	47.0	47.6	48.0	47.5	48.4	48.0	48.9	48.9	49.2	49.5
	割合	100.0	101.3	102.1	101.1	103.0	102.1	104.0	104.0	104.7	105.3
近畿	残留率	44.5	44.8	44.7	44.7	44.6	44.7	45.0	45.8	46.1	46.4
	割合	100.0	100.7	100.4	100.4	100.2	100.4	101.1	102.9	103.6	104.3
中国	残留率	38.1	39.2	39.3	39.2	40.1	40.3	40.5	40.7	40.5	41.0
	割合	100.0	102.9	103.1	102.9	105.2	105.8	106.3	106.8	106.3	107.6
四国	残留率	26.5	26.3	26.5	26.3	27.2	27.2	27.1	26.9	27.7	27.6
	割合	100.0	99.2	100.0	99.2	102.6	102.6	102.3	101.5	104.5	104.2
九州沖縄	残留率	46.3	47.1	46.6	46.5	46.3	46.0	46.1	46.3	47.2	46.6
	割合	100.0	101.7	100.6	100.4	100.0	99.4	99.6	100.0	101.9	100.6

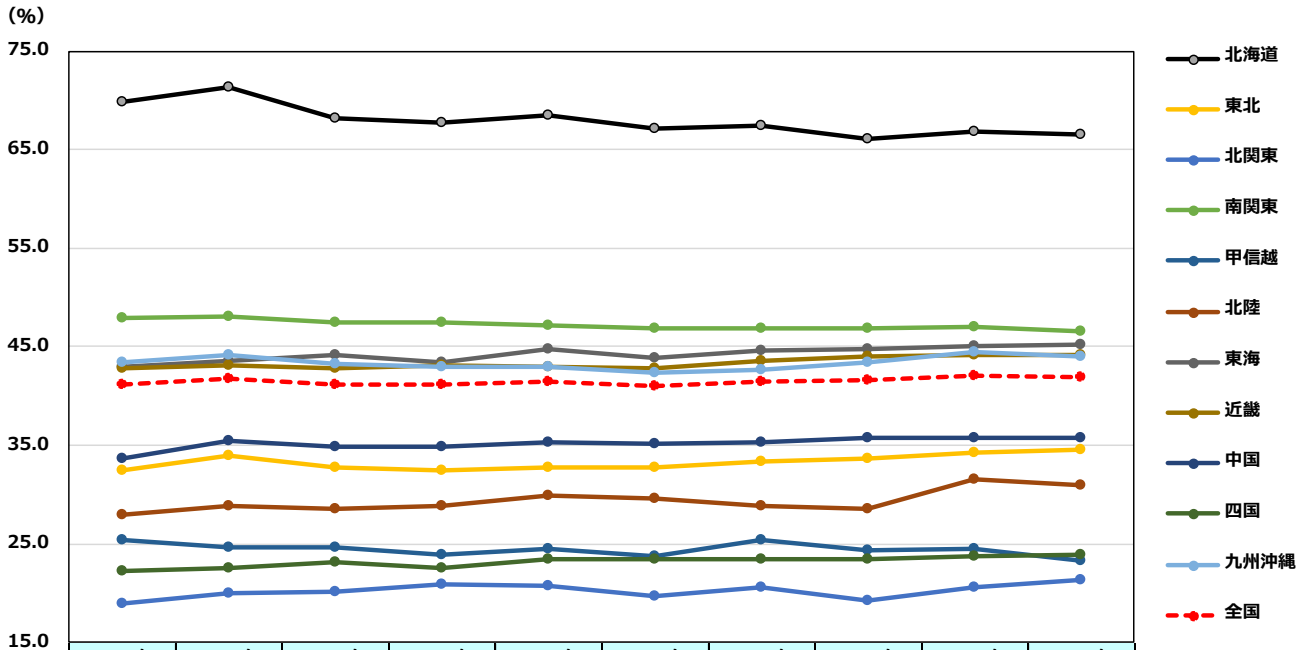
※文部科学省「学校基本調査（確報）」より、H30年（2018年）は速報値

リクルート進学総研

地元残留率の推移(男子：大学進学者：エリア別：2009～2018年)

■2009年41.1%→2018年41.9%(0.8ポイント上昇)

・全国で2009年41.1%→2018年41.9%と0.8ポイント上昇。
・上昇率が高いのは、1位北関東(112.1)、2位北陸(111.1)、3位四国(107.2)。※
・上昇率が低いのは、1位甲信越(91.7)、2位北海道(95.3)、3位南関東(97.3)。
・残留率が高いのは、1位北海道(2018年66.6%)、2位南関東(46.6%)、3位東海(45.2%)。
注）※の( )内の数値は、2009年を100としたときの2018年の指数



		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
全国	残留率	41.1	41.7	41.2	41.2	41.4	41.0	41.5	41.6	42.0	41.9
	割合	100.0	101.5	100.2	100.2	100.7	99.8	101.0	101.2	102.2	101.9
北海道	残留率	69.9	71.4	68.2	67.8	68.5	67.1	67.5	66.1	66.8	66.6
	割合	100.0	102.1	97.6	97.0	98.0	96.0	96.6	94.6	95.6	95.3
東北	残留率	32.4	33.9	32.8	32.4	32.7	32.7	33.3	33.6	34.2	34.6
	割合	100.0	104.6	101.2	100.0	100.9	100.9	102.8	103.7	105.6	106.8
北関東	残留率	19.0	20.0	20.1	20.9	20.7	19.7	20.6	19.3	20.6	21.3
	割合	100.0	105.3	105.8	110.0	108.9	103.7	108.4	101.6	108.4	112.1
南関東	残留率	47.9	48.1	47.5	47.4	47.2	46.8	46.8	46.9	47.0	46.6
	割合	100.0	100.4	99.2	99.0	98.5	97.7	97.7	97.9	98.1	97.3
甲信越	残留率	25.4	24.6	24.6	23.9	24.5	23.7	25.4	24.3	24.5	23.3
	割合	100.0	96.9	96.9	94.1	96.5	93.3	100.0	95.7	96.5	91.7
北陸	残留率	27.9	28.9	28.5	28.9	29.9	29.6	28.8	28.6	31.5	31.0
	割合	100.0	103.6	102.2	103.6	107.2	106.1	103.2	102.5	112.9	111.1
東海	残留率	42.9	43.6	44.2	43.4	44.8	43.9	44.6	44.8	45.0	45.2
	割合	100.0	101.6	103.0	101.2	104.4	102.3	104.0	104.4	104.9	105.4
近畿	残留率	42.8	43.1	42.8	43.1	43.0	42.8	43.5	44.0	44.2	44.2
	割合	100.0	100.7	100.0	100.7	100.5	100.0	101.6	102.8	103.3	103.3
中国	残留率	33.7	35.4	34.8	34.8	35.3	35.2	35.3	35.7	35.7	35.8
	割合	100.0	105.0	103.3	103.3	104.7	104.5	104.7	105.9	105.9	106.2
四国	残留率	22.3	22.6	23.2	22.6	23.5	23.4	23.4	23.4	23.7	23.9
	割合	100.0	101.3	104.0	101.3	105.4	104.9	104.9	104.9	106.3	107.2
九州沖縄	残留率	43.4	44.1	43.3	42.9	42.9	42.4	42.7	43.4	44.5	44.0
	割合	100.0	101.6	99.8	98.8	98.8	97.7	98.4	100.0	102.5	101.4

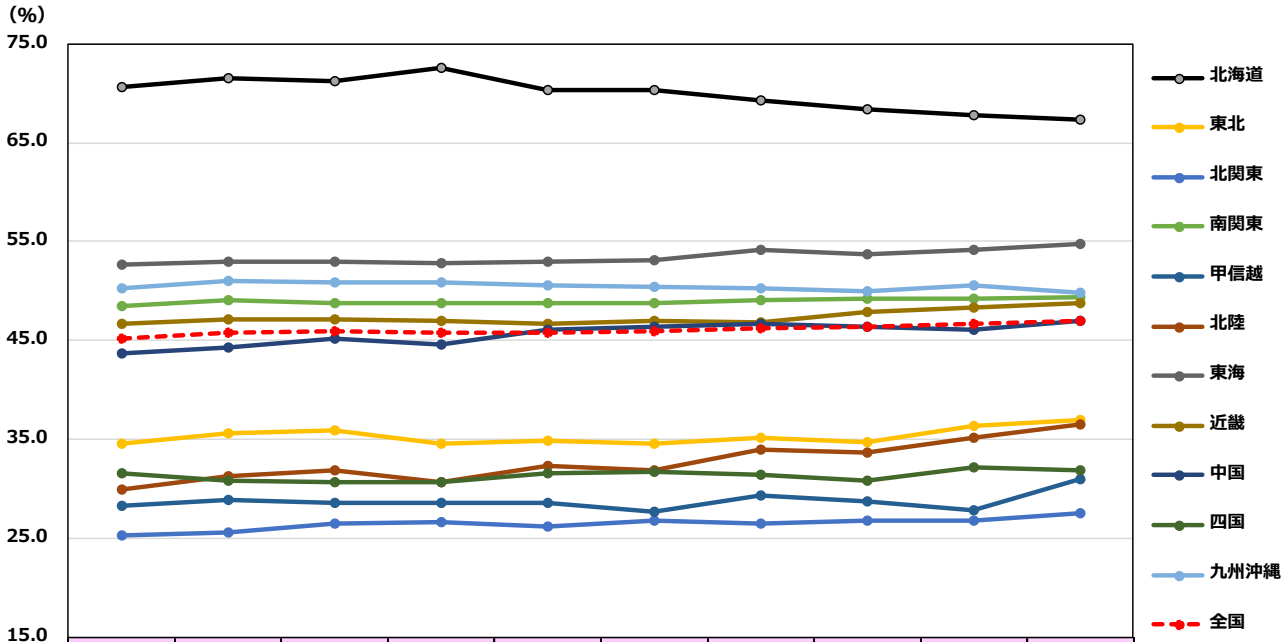
※文部科学省「学校基本調査（確報）」より、H30年（2018年）は速報値

リクルート進学総研

地元残留率の推移(女子：大学進学者：エリア別：2009～2018年)

■2009年45.2%→2018年47.0%(1.8ポイント上昇)

・全国で2009年45.2%→2018年47.0%と1.8ポイント上昇。
・上昇率が高いのは、1位北陸(122.1)、2位甲信越(109.9)、3位北関東(109.1)。※
・10年間で低下したのは北海道(70.6%→67.3%)、九州沖縄(50.2%→49.8%) 。
・残留率が高いのは、1位北海道(2018年67.3%)、2位東海(54.7%)、3位九州沖縄(49.8%)。
注）※の( )内の数値は、2009年を100としたときの2018年の指数



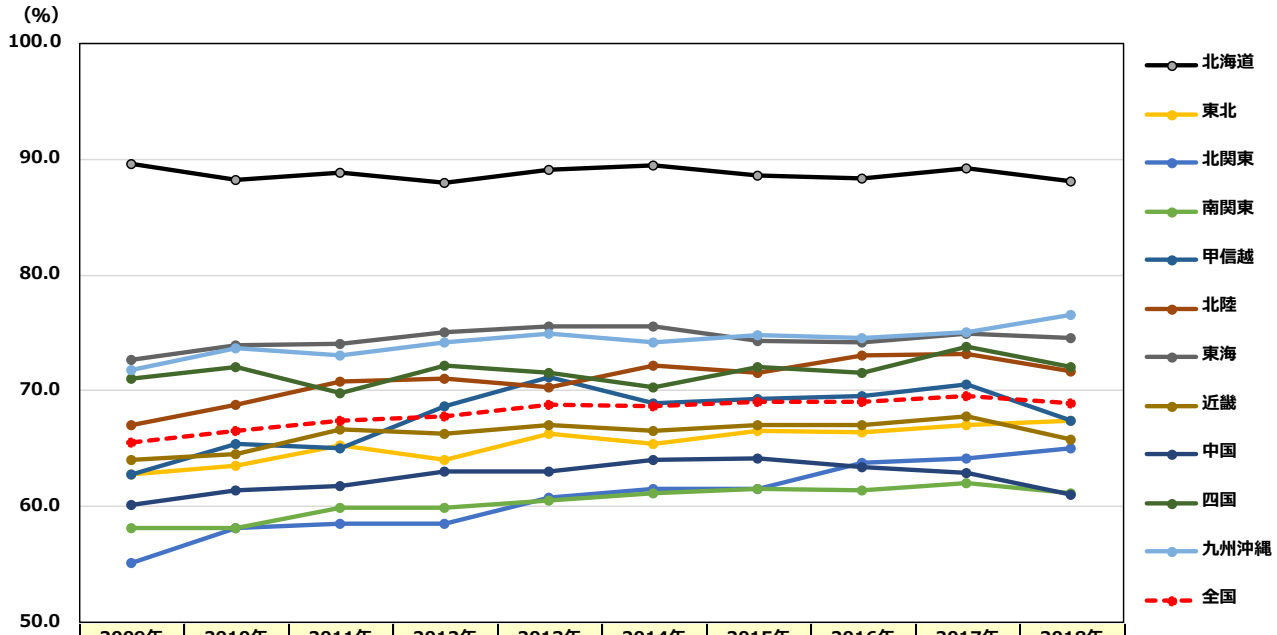
		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
全国	残留率	45.2	45.7	45.9	45.7	45.8	45.9	46.2	46.3	46.6	47.0
	割合	100.0	101.1	101.5	101.1	101.3	101.5	102.2	102.4	103.1	104.0
北海道	残留率	70.6	71.5	71.2	72.5	70.3	70.3	69.3	68.4	67.7	67.3
	割合	100.0	101.3	100.8	102.7	99.6	99.6	98.2	96.9	95.9	95.3
東北	残留率	34.6	35.6	35.9	34.5	34.9	34.6	35.1	34.7	36.4	37.0
	割合	100.0	102.9	103.8	99.7	100.9	100.0	101.4	100.3	105.2	106.9
北関東	残留率	25.2	25.6	26.5	26.6	26.1	26.7	26.5	26.7	26.7	27.5
	割合	100.0	101.6	105.2	105.6	103.6	106.0	105.2	106.0	106.0	109.1
南関東	残留率	48.4	49.0	48.8	48.7	48.8	48.7	49.0	49.2	49.2	49.4
	割合	100.0	101.2	100.8	100.6	100.8	100.6	101.2	101.7	101.7	102.1
甲信越	残留率	28.2	28.9	28.6	28.6	28.5	27.7	29.3	28.7	27.8	31.0
	割合	100.0	102.5	101.4	101.4	101.1	98.2	103.9	101.8	98.6	109.9
北陸	残留率	29.9	31.3	31.9	30.7	32.3	31.8	34.0	33.7	35.2	36.5
	割合	100.0	104.7	106.7	102.7	108.0	106.4	113.7	112.7	117.7	122.1
東海	残留率	52.6	53.0	53.0	52.8	53.0	53.1	54.1	53.7	54.1	54.7
	割合	100.0	100.8	100.8	100.4	100.8	101.0	102.9	102.1	102.9	104.0
近畿	残留率	46.7	47.1	47.1	46.9	46.6	47.0	46.8	47.9	48.3	48.8
	割合	100.0	100.9	100.9	100.4	99.8	100.6	100.2	102.6	103.4	104.5
中国	残留率	43.6	44.2	45.1	44.6	46.0	46.3	46.7	46.4	46.0	46.9
	割合	100.0	101.4	103.4	102.3	105.5	106.2	107.1	106.4	105.5	107.6
四国	残留率	31.6	30.8	30.6	30.7	31.5	31.7	31.4	30.8	32.2	31.8
	割合	100.0	97.5	96.8	97.2	99.7	100.3	99.4	97.5	101.9	100.6
九州沖縄	残留率	50.2	51.0	50.8	50.9	50.6	50.4	50.2	50.0	50.5	49.8
	割合	100.0	101.6	101.2	101.4	100.8	100.4	100.0	99.6	100.6	99.2

※文部科学省「学校基本調査（確報）」より、H30年（2018年）は速報値

地元残留率の推移(全体：短期大学進学者：エリア別：2009～2018年)

■2009年65.5%→2018年68.9%(3.4ポイント上昇)

・全国で2009年65.5%→2018年68.9%と3.4ポイント上昇。
・上昇率が高いのは、1位北関東(117.8)、2位甲信越・東北(107.3) 。※
・10年間で低下した地域は、北海道(89.6%→88.1%)。
・残留率が高いのは、1位北海道(2018年88.1%)、2位九州沖縄(76.5%)、3位東海(74.5%)。
注）※の( )内の数値は、2009年を100としたときの2018年の指数



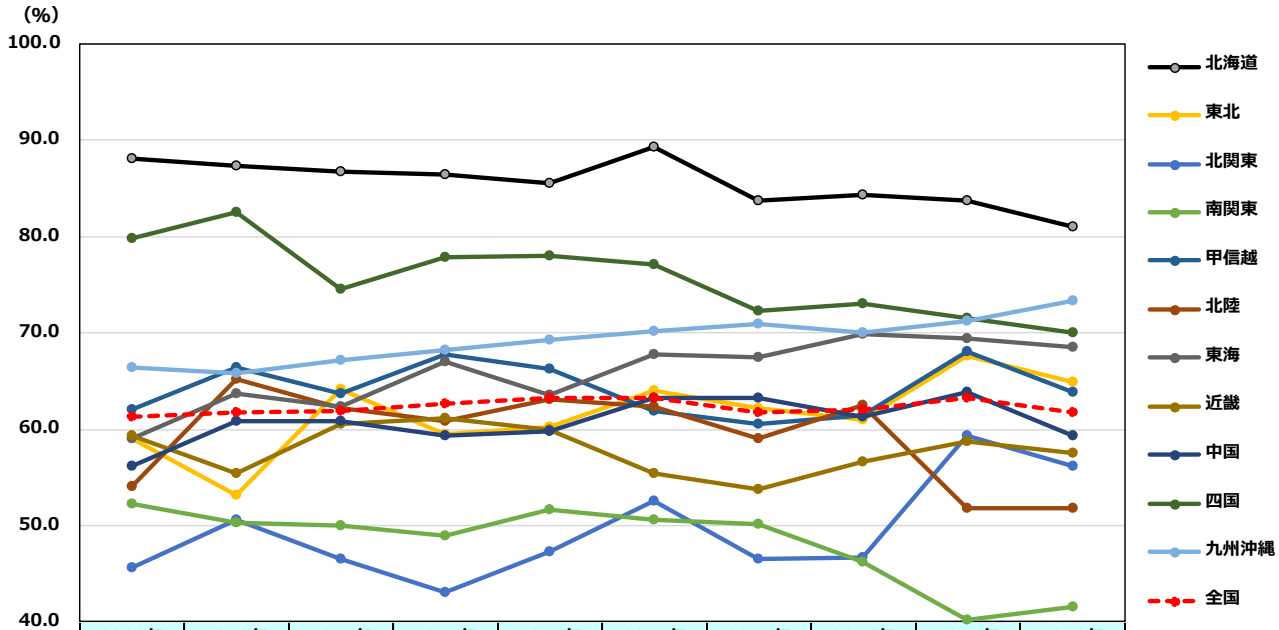
		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
全国	残留率	65.5	66.6	67.4	67.8	68.8	68.7	69.0	69.0	69.6	68.9
	割合	100.0	101.7	102.9	103.5	105.0	104.9	105.3	105.3	106.3	105.2
北海道	残留率	89.6	88.2	88.8	87.9	89.1	89.5	88.6	88.3	89.2	88.1
	割合	100.0	98.4	99.1	98.1	99.4	99.9	98.9	98.5	99.6	98.3
東北	残留率	62.8	63.6	65.3	64.1	66.3	65.4	66.5	66.4	67.1	67.4
	割合	100.0	101.3	104.0	102.1	105.6	104.1	105.9	105.7	106.8	107.3
北関東	残留率	55.2	58.2	58.6	58.6	60.8	61.6	61.6	63.8	64.2	65.0
	割合	100.0	105.4	106.2	106.2	110.1	111.6	111.6	115.6	116.3	117.8
南関東	残留率	58.2	58.2	59.9	59.9	60.6	61.2	61.6	61.4	62.0	61.2
	割合	100.0	100.0	102.9	102.9	104.1	105.2	105.8	105.5	106.5	105.2
甲信越	残留率	62.8	65.4	65.1	68.7	71.2	68.9	69.3	69.6	70.6	67.4
	割合	100.0	104.1	103.7	109.4	113.4	109.7	110.4	110.8	112.4	107.3
北陸	残留率	67.1	68.8	70.8	71.0	70.3	72.2	71.6	73.0	73.2	71.7
	割合	100.0	102.5	105.5	105.8	104.8	107.6	106.7	108.8	109.1	106.9
東海	残留率	72.7	73.9	74.0	75.0	75.5	75.6	74.3	74.2	74.9	74.5
	割合	100.0	101.7	101.8	103.2	103.9	104.0	102.2	102.1	103.0	102.5
近畿	残留率	64.1	64.6	66.7	66.3	67.1	66.6	67.1	67.1	67.8	65.8
	割合	100.0	100.8	104.1	103.4	104.7	103.9	104.7	104.7	105.8	102.7
中国	残留率	60.2	61.4	61.8	63.0	63.0	64.1	64.2	63.4	62.9	61.0
	割合	100.0	102.0	102.7	104.7	104.7	106.5	106.6	105.3	104.5	101.3
四国	残留率	71.0	72.0	69.8	72.2	71.5	70.3	72.0	71.5	73.8	72.1
	割合	100.0	101.4	98.3	101.7	100.7	99.0	101.4	100.7	103.9	101.5
九州沖縄	残留率	71.8	73.7	73.0	74.2	74.9	74.2	74.8	74.5	75.0	76.5
	割合	100.0	102.6	101.7	103.3	104.3	103.3	104.2	103.8	104.5	106.5

※文部科学省「学校基本調査（確報）」より、H30年（2018年）は速報値

地元残留率の推移(男子：短期大学進学者：エリア別：2009～2018年)

■2009年61.3%→2018年61.8%(0.5ポイント上昇)

・全国で2009年61.3%→2018年61.8%と0.5ポイント上昇。
・上昇率が高いのは、1位北関東(123.2)、2位東海(116.1)、3位九州沖縄(110.4)。※
・上昇率が低いのは、1位南関東(79.7)、2位四国(87.7)、3位北海道(92.1)。※
・残留率が高いのは、1位北海道(2018年81.1%)、2位九州沖縄(73.3%)、3位四国 (70.0%)。
注）※の( )内の数値は、2009年を100としたときの2018年の指数



		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
全国	残留率	61.3	61.7	61.9	62.6	63.2	63.3	61.7	62.0	63.2	61.8
	割合	100.0	100.7	101.0	102.1	103.1	103.3	100.7	101.1	103.1	100.8
北海道	残留率	88.1	87.4	86.8	86.5	85.5	89.3	83.7	84.3	83.7	81.1
	割合	100.0	99.2	98.5	98.2	97.0	101.4	95.0	95.7	95.0	92.1
東北	残留率	59.1	53.2	64.2	59.5	60.3	64.0	62.2	61.0	67.7	64.9
	割合	100.0	90.0	108.6	100.7	102.0	108.3	105.2	103.2	114.6	109.8
北関東	残留率	45.6	50.6	46.6	43.0	47.3	52.6	46.5	46.7	59.3	56.2
	割合	100.0	111.0	102.2	94.3	103.7	115.4	102.0	102.4	130.0	123.2
南関東	残留率	52.2	50.3	50.0	48.9	51.7	50.6	50.2	46.3	40.2	41.6
	割合	100.0	96.4	95.8	93.7	99.0	96.9	96.2	88.7	77.0	79.7
甲信越	残留率	62.1	66.4	63.7	67.8	66.3	61.9	60.6	61.4	68.1	63.8
	割合	100.0	106.9	102.6	109.2	106.8	99.7	97.6	98.9	109.7	102.7
北陸	残留率	54.0	65.2	62.2	60.9	63.1	62.3	59.1	62.5	51.8	51.8
	割合	100.0	120.7	115.2	112.8	116.9	115.4	109.4	115.7	95.9	95.9
東海	残留率	59.1	63.7	62.3	67.0	63.5	67.8	67.5	69.9	69.4	68.6
	割合	100.0	107.8	105.4	113.4	107.4	114.7	114.2	118.3	117.4	116.1
近畿	残留率	59.3	55.4	60.5	61.1	59.9	55.4	53.7	56.7	58.8	57.6
	割合	100.0	93.4	102.0	103.0	101.0	93.4	90.6	95.6	99.2	97.1
中国	残留率	56.2	60.9	60.9	59.4	59.8	63.2	63.2	61.3	63.9	59.4
	割合	100.0	108.4	108.4	105.7	106.4	112.5	112.5	109.1	113.7	105.7
四国	残留率	79.8	82.5	74.6	77.9	78.0	77.1	72.3	73.1	71.6	70.0
	割合	100.0	103.4	93.5	97.6	97.7	96.6	90.6	91.6	89.7	87.7
九州沖縄	残留率	66.4	65.8	67.2	68.2	69.3	70.2	70.9	70.1	71.3	73.3
	割合	100.0	99.1	101.2	102.7	104.4	105.7	106.8	105.6	107.4	110.4

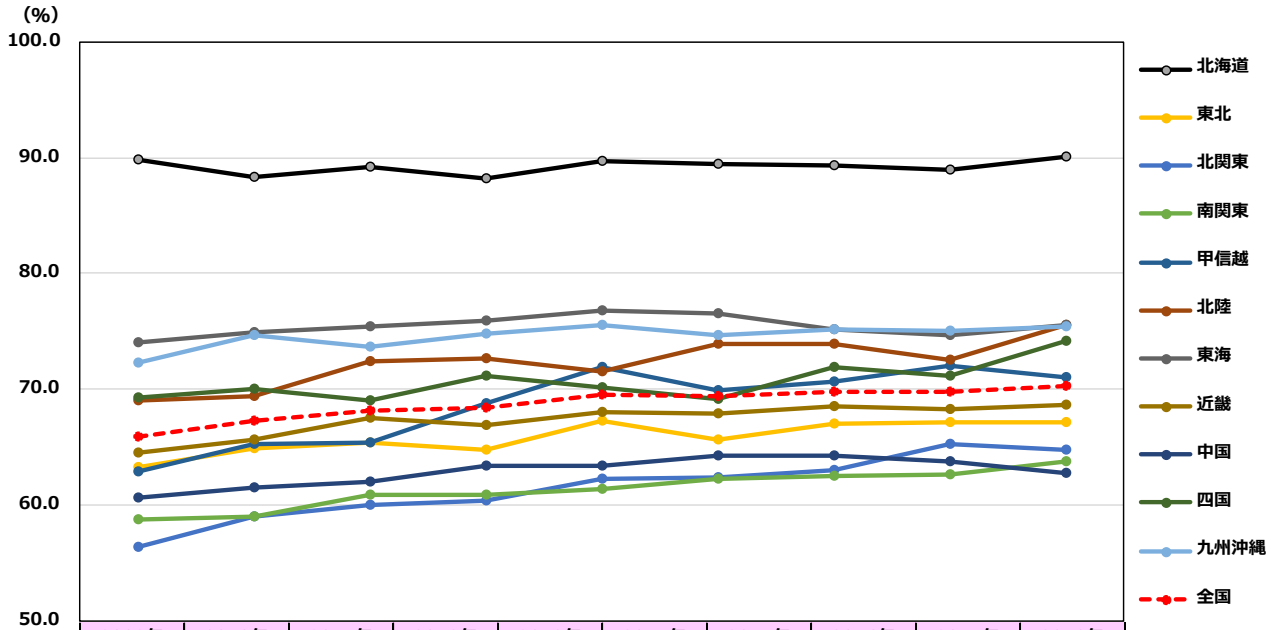
※文部科学省「学校基本調査（確報）」より、H30年（2018年）は速報値

リクルート進学総研

地元残留率の推移(女子：短期大学進学者：エリア別：2009～2018年)

■2009年65.9%→2018年69.6%(3.7ポイント上昇)

・全国で2009年65.9%→2018年69.6%と3.7ポイント上昇。
・上昇率が高いのは、1位北関東(116.7)、2位甲信越(108.1)、3位東北・南関東(107.0)。※
・10年間で低下した地域は、北海道(89.9%→89.2%)。
・残留率が高いのは、1位北海道(2018年89.2%)、2位九州沖縄(76.8%)、3位東海(75.2%)。
注）※の( )内の数値は、2009年を100としたときの2018年の指数



		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
全国	残留率	65.9	67.2	68.1	68.4	69.5	69.4	69.8	69.8	70.3	69.6
	割合	100.0	102.0	103.3	103.8	105.5	105.3	105.9	105.9	106.7	105.6
北海道	残留率	89.9	88.3	89.2	88.2	89.7	89.5	89.4	88.9	90.1	89.2
	割合	100.0	98.2	99.2	98.1	99.8	99.6	99.4	98.9	100.2	99.2
東北	残留率	63.3	64.9	65.4	64.7	67.2	65.6	67.0	67.1	67.1	67.7
	割合	100.0	102.5	103.3	102.2	106.2	103.6	105.8	106.0	106.0	107.0
北関東	残留率	56.3	59.0	60.0	60.3	62.2	62.4	63.0	65.3	64.7	65.7
	割合	100.0	104.8	106.6	107.1	110.5	110.8	111.9	116.0	114.9	116.7
南関東	残留率	58.7	59.0	60.8	60.9	61.3	62.2	62.5	62.6	63.7	62.8
	割合	100.0	100.5	103.6	103.7	104.4	106.0	106.5	106.6	108.5	107.0
甲信越	残留率	62.9	65.2	65.4	68.8	71.9	69.9	70.7	72.0	71.0	68.0
	割合	100.0	103.7	104.0	109.4	114.3	111.1	112.4	114.5	112.9	108.1
北陸	残留率	69.0	69.4	72.4	72.6	71.5	73.9	73.9	72.5	75.6	73.5
	割合	100.0	100.6	104.9	105.2	103.6	107.1	107.1	105.1	109.6	106.5
東海	残留率	74.0	74.9	75.4	75.9	76.8	76.6	75.1	74.7	75.5	75.2
	割合	100.0	101.2	101.9	102.6	103.8	103.5	101.5	100.9	102.0	101.6
近畿	残留率	64.5	65.6	67.5	66.9	68.0	67.9	68.5	68.3	68.7	66.7
	割合	100.0	101.7	104.7	103.7	105.4	105.3	106.2	105.9	106.5	103.4
中国	残留率	60.6	61.5	62.0	63.4	63.4	64.2	64.3	63.7	62.8	61.2
	割合	100.0	101.5	102.3	104.6	104.6	105.9	106.1	105.1	103.6	101.0
四国	残留率	69.3	70.0	69.0	71.2	70.2	69.1	71.9	71.2	74.2	72.4
	割合	100.0	101.0	99.6	102.7	101.3	99.7	103.8	102.7	107.1	104.5
九州沖縄	残留率	72.3	74.6	73.6	74.8	75.5	74.6	75.2	75.0	75.4	76.8
	割合	100.0	103.2	101.8	103.5	104.4	103.2	104.0	103.7	104.3	106.2

※文部科学省「学校基本調査（確報）」より、H30年（2018年）は速報値

地元残留率(全体：大学・短期大学進学者：都道府県別：2018年)

■大学進学者の地元残留率1位は愛知、短期大学進学者の地元残留率1位は福岡

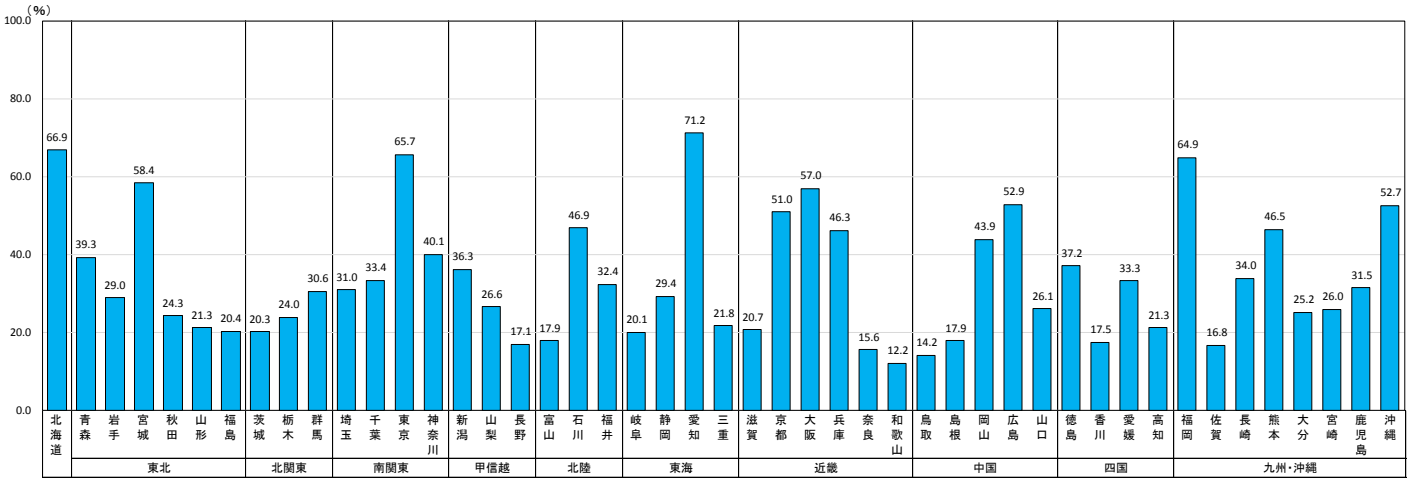
大学進学者地元残留率

残留率が高いのは、1位愛知(71.2%)、2位北海道(66.9%)、3位東京(65.7%)
残留率が低いのは、1位和歌山(12.2%)、2位鳥取(14.2%)、3位奈良(15.6%)

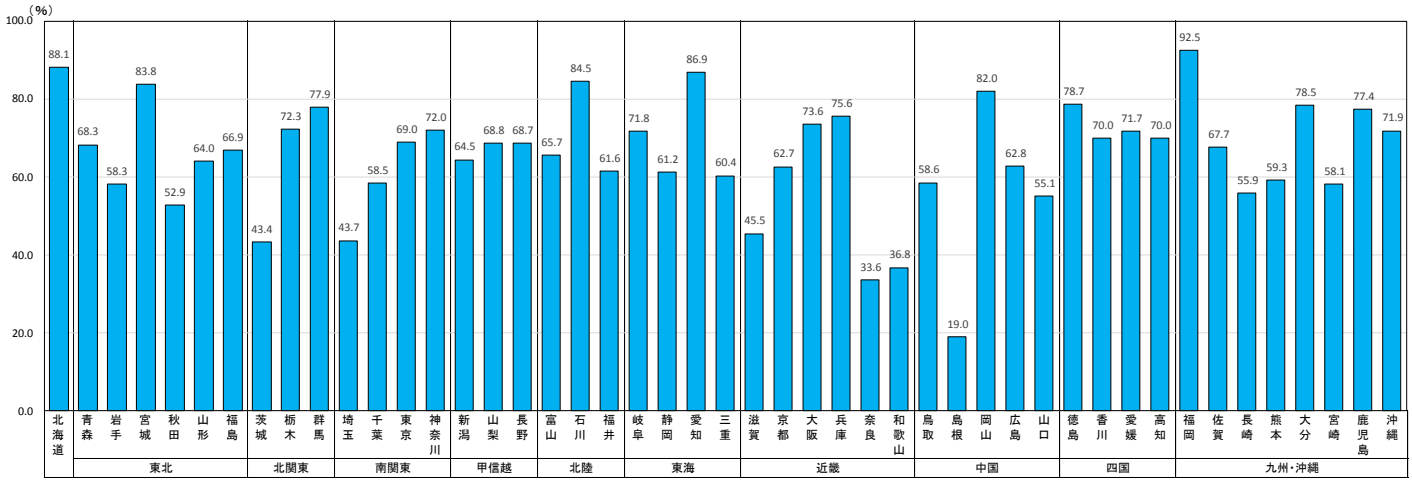
短期大学進学者地元残留率

残留率が高いのは、1位福岡(92.5%)、2位北海道(88.1%)、3位愛知(86.9%)
残留率が低いのは、1位島根(19.0%)、2位奈良(33.6%)、3位和歌山(36.8%)

・大学進学者地元残留率



・短期大学進学者地元残留率



リクルート進学総研

地元残留率(男子：大学・短期大学進学者数：都道府県別：2018年)

■大学進学者の地元残留率1位は北海道、短期大学進学者の残留率1位は福岡

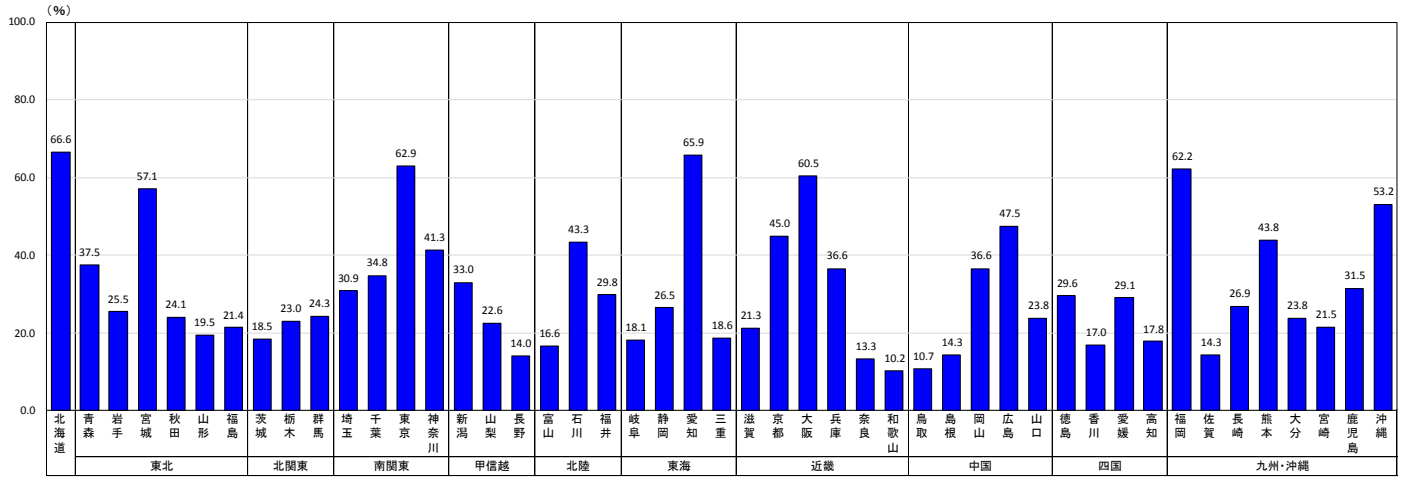
大学進学者地元残留率

残留率が高いのは、1位北海道(66.6%)、2位愛知(65.9%)、3位東京(62.9%)
残留率が低いのは、1位和歌山(10.2%)、2位鳥取(10.7%)、3位奈良(13.3%)

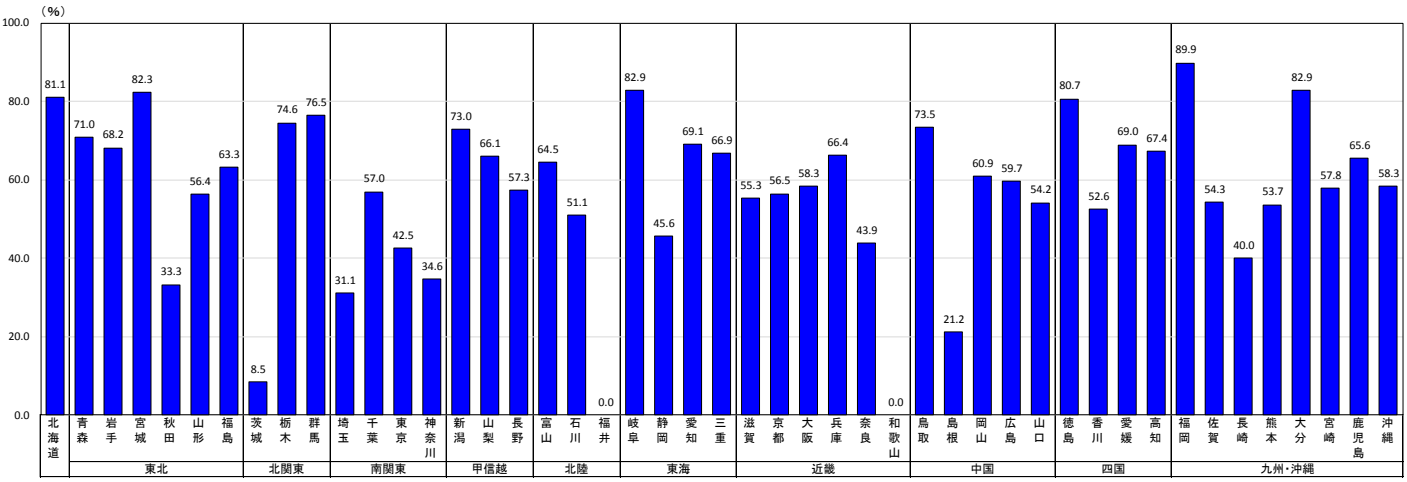
短期大学進学者地元残留率

残留率が高いのは、1位福岡(89.9%)、2位岐阜・大分(82.9%)
残留率が低いのは、1位福井・和歌山(0.0%)、3位茨城(8.5%)

・大学進学者地元残留率



・短期大学者地元残留率



リクルート進学総研

地元残留率(女子：大学・短期大学進学者：都道府県別：2018年)

■大学進学者の地元残留率1位は愛知、短期大学進学者の地元残留率1位は福岡

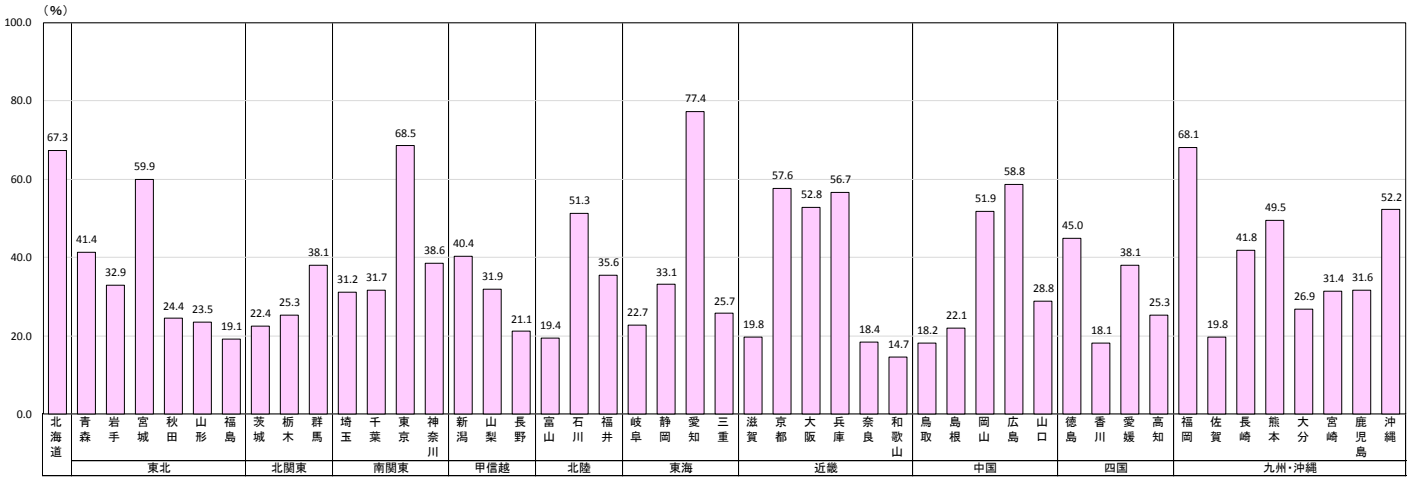
大学進学者地元残留率

残留率が高いのは、1位愛知(77.4%)、2位東京(68.5%)、3位福岡(68.1%)
残留率が低いのは、1位和歌山(14.7%)、2位香川(18.1%)、3位鳥取(18.2%)

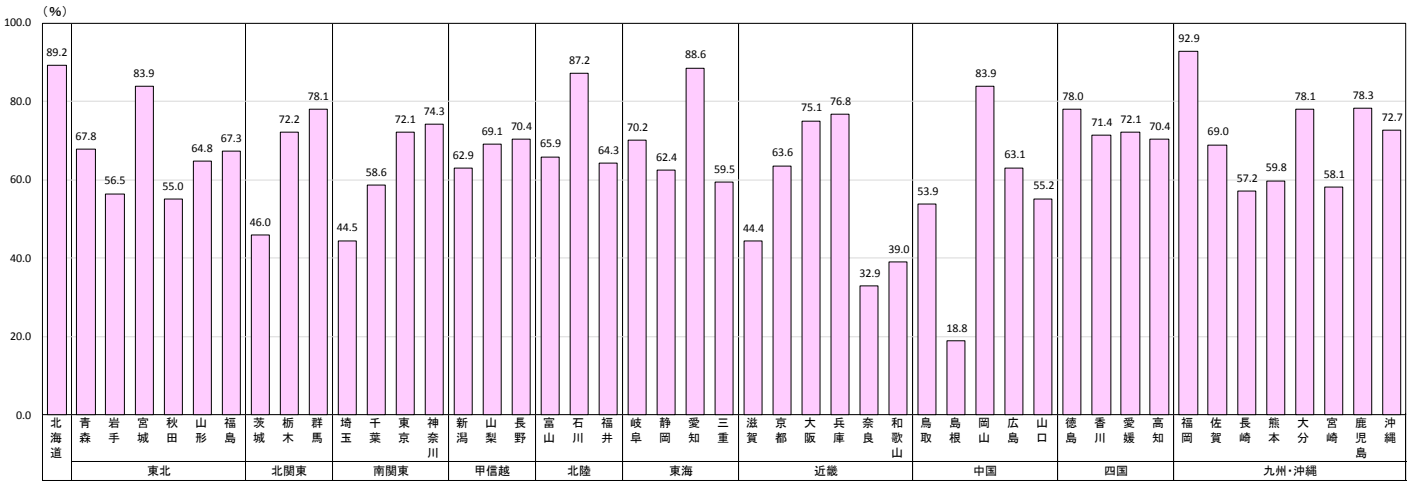
短期大学進学者地元残留率

残留率が高いのは、1位福岡(92.9%)、2位北海道(89.2%)、3位愛知(88.6%)
残留率が低いのは、1位島根(18.8%)、2位奈良(32.9%)、3位和歌山(39.0%)

・大学進学者地元残留率



・短期大学者地元残留率

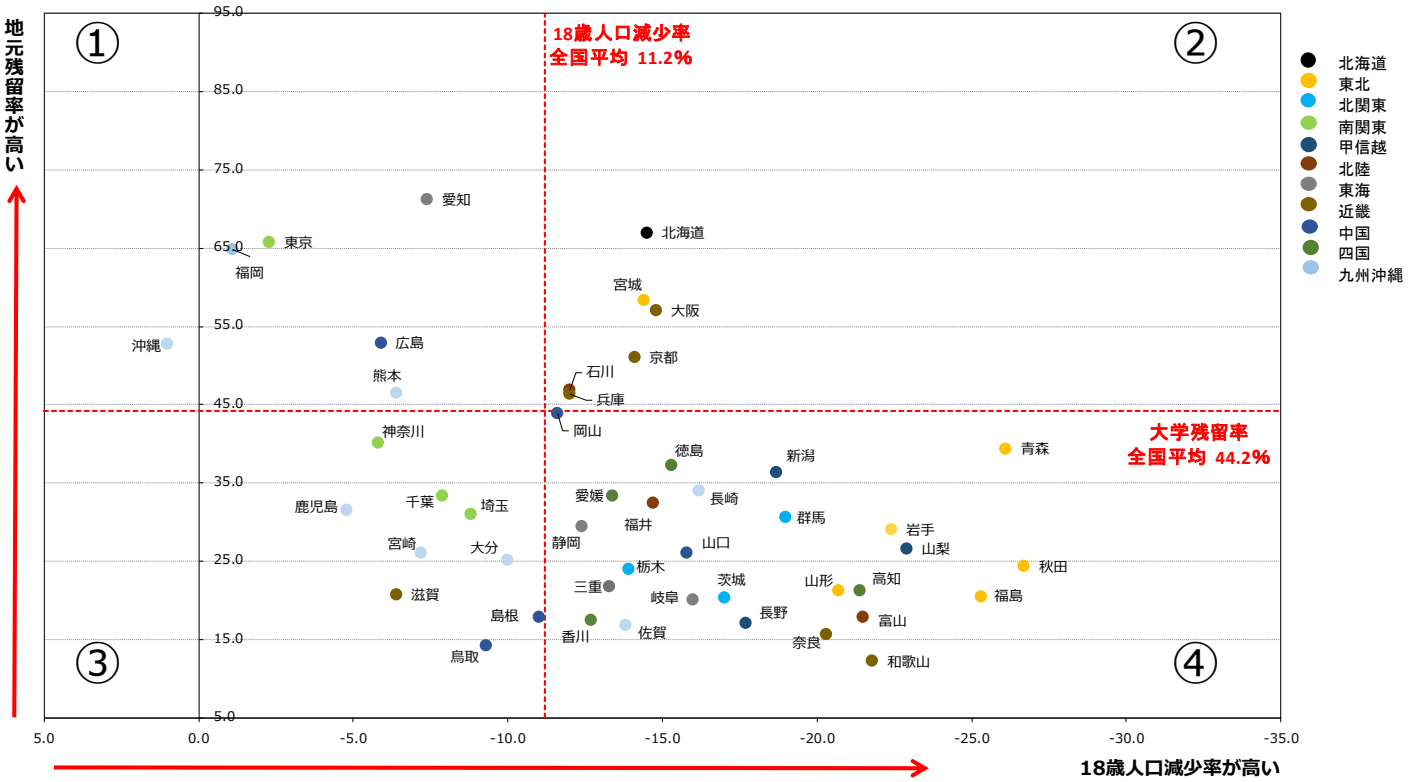


リクルート進学総研

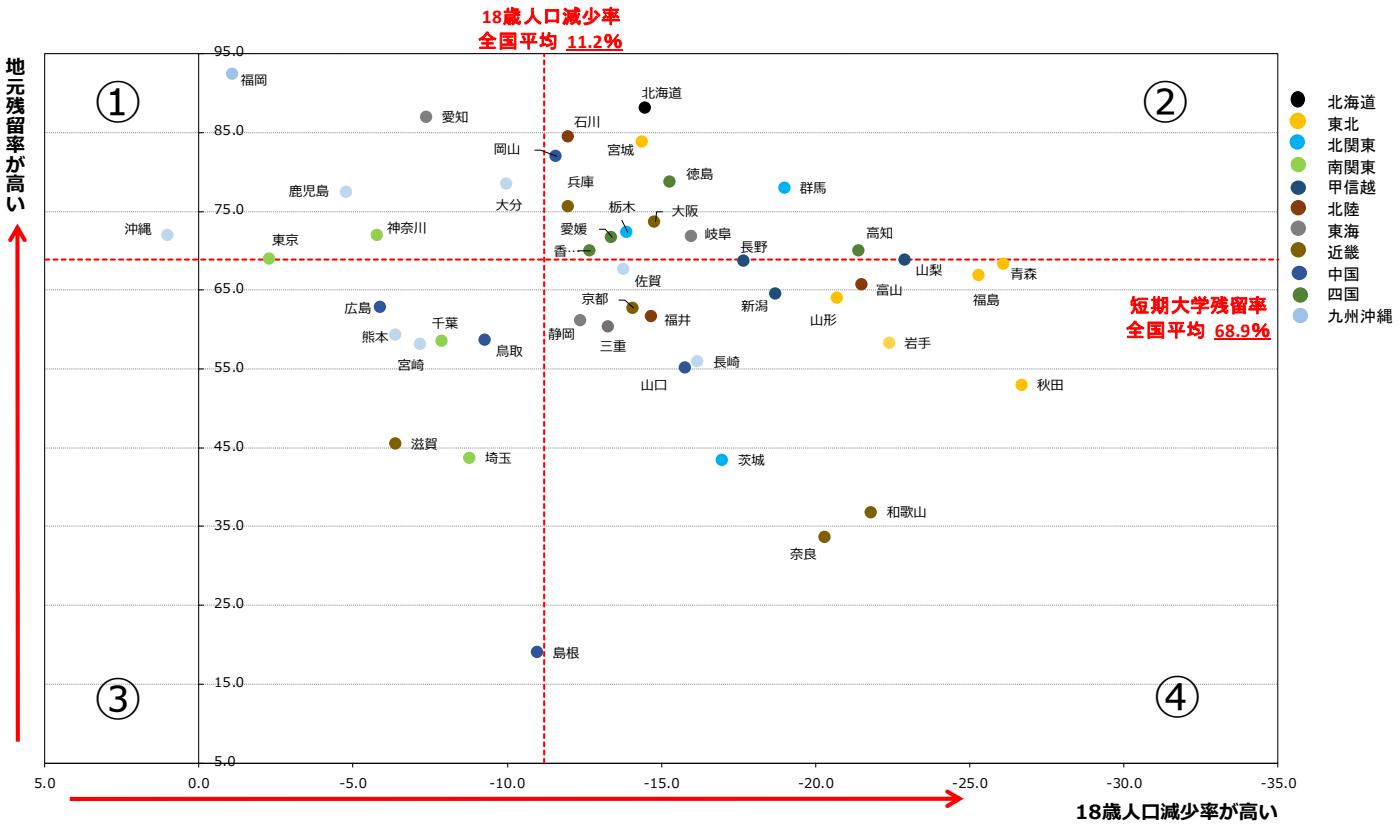
18歳人口減少率×地元残留率　(大学進学者：都道府県別：2018→2030年)

■「象限④」（18歳人口減少率が高く地元残留率が低い）に多くの県が集まる

・全国平均でガイドラインを引き4象限に分けると、以下のとおりになる。
象限① 18歳人口減少率が低く、地元残留率が高い
：東京、愛知、広島、福岡、熊本、沖縄
→人口が減少せず、地元にも残るため、県内募集は比較的しやすいセグメント。
象限② 18歳人口減少率が高く、地元残留率が高い
：北海道、宮城、石川、京都、大阪、兵庫
→18歳は比較的地元に残るが、マーケット自体が縮小するセグメント。
象限③ 18歳人口減少率が低く、地元残留率が低い
：埼玉、千葉、神奈川、滋賀、鳥取、島根、大分、宮崎、鹿児島
→人口は大きくは減少しないものの、周辺県への流出が多いセグメント。
象限④ 18歳人口減少率が高く、地元残留率が低い
：その他の県
→人口減少に加え地元にも残留しないため、地元募集だけでは厳しいセグメント。



18歳人口減少率×地元残留率（短期大学進学者：都道府県別：2018→2030年）

■大学進学者と比較すると、地元に残留する傾向が強い

・短期大学の特性として比較的地元密着の傾向が強く、
　大学進学者と比較すると地元残留率の平均が24.7ポイント高い。
・全国平均でガイドラインを引き4象限に分けると、以下のとおりになる。
　象限① 18歳人口減少率が低く、地元残留率が高い
　　：東京、神奈川、愛知、福岡、大分、鹿児島、沖縄
　　→人口が減少せず、地元にも残るため、県内募集は比較的しやすいセグメント。
　象限② 18歳人口減少率が高く、地元残留率が高い
　　：北海道、宮城、栃木、群馬、石川、岐阜、大阪、兵庫、岡山、徳島　香川、愛媛、高知
　　→18歳は比較的地元に残るが、マーケット自体が縮小するセグメント。
　象限③ 18歳人口減少率が低く、地元残留率が低い
　　：埼玉、千葉、滋賀、鳥取、島根、広島、熊本、宮崎
　　→人口は大きくは減少しないものの、周辺県への流出が多いセグメント。
　象限④ 18歳人口減少率が高く、地元残留率が低い
　　：その他の府県
　　→人口減少に加え地元にも残留しないため、地元募集だけでは厳しいセグメント。